

※ 各法人の年度計画に係る業務実績を検証願います(提出期限 7月20日(金))。検証は法人ごとに行うもので、法人間の比較を行うものではありません。

県立病院法人(三病院共通)委員検証シート

1 ブロック : 1-1-1 より質の高い医療の提供 ~ 1-1-3 診療体制の充実

1-1-1 より質の高い医療の提供

岐阜県総合医療センター		岐阜県立多治見病院		岐阜県立下呂温泉病院																																																																																																																																					
H29年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	H29年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	H29年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価																																																																																																																																				
	<ul style="list-style-type: none"> 特に進捗した取組 その他の主な取組 今後の課題・問題点 (●) 	<ul style="list-style-type: none"> 特に進捗した取組 その他の主な取組 今後の課題・問題点 (●) 	<ul style="list-style-type: none"> 特に進捗した取組 その他の主な取組 今後の課題・問題点 (●) 	<ul style="list-style-type: none"> 特に進捗した取組 その他の主な取組 今後の課題・問題点 (●) 	<ul style="list-style-type: none"> 特に進捗した取組 その他の主な取組 今後の課題・問題点 (●) 																																																																																																																																				
<p>項目番号 01</p> <p>1 高度先進医療機器の計画的な更新・整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 生化学自動分析装置・検体搬送分注装置や連続血管撮影装置等の高度先進医療機器を計画的に更新・整備を行い、第2期中期計画期間中(平成31年度まで)の主要医療機器の更新・整備計画に基づき、合理的・効率的な更新・整備を進める。 	<p>1 高度先進医療機器の計画的な更新・整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 高価な機器に関しては、稼働状況・費用対効果等を勘案するとともに、人材育成を見据えた視点から先進医療機器を整備し、医療の先進性と質の向上を図った。 <p>○代表的な更新・整備機器一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名等</th> <th>整備目的・用途等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>血管撮影装置</td> <td>脳神経外科領域、肝臓内科領域において使用</td> </tr> <tr> <td>ガンマカメラ</td> <td>脳、心臓、甲状腺、悪性腫瘍等の検査で使用</td> </tr> <tr> <td>注射薬自動払出装置</td> <td>注射オーダーによる1施用ごとの注射薬の払い出しに使用</td> </tr> </tbody> </table> <p>※3千万円以上の高額機器</p> <p>○更新・整備を実施した機器の稼働件数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名/年度</th> <th>年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内視鏡手術支援ロボット(ダ・ヴィンチ)</td> <td>H24</td> <td>131</td> <td>131</td> <td>119</td> </tr> <tr> <td>X線CT装置</td> <td>H25</td> <td>26,476</td> <td>19,368</td> <td>19,509</td> </tr> <tr> <td>エキシマレーザー血管形成装置</td> <td>H25</td> <td>14</td> <td>24</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>ハイブリッド手術システム</td> <td>H25</td> <td>700</td> <td>655</td> <td>607</td> </tr> <tr> <td>手術用顕微鏡</td> <td>H26</td> <td>96</td> <td>146</td> <td>132</td> </tr> <tr> <td>循環器画像保存システム</td> <td>H26</td> <td>2,454</td> <td>2,571</td> <td>2,681</td> </tr> <tr> <td>内視鏡ファイリングシステム</td> <td>H26</td> <td>8,518</td> <td>8,454</td> <td>8,649</td> </tr> <tr> <td>全身用磁気共鳴画像診断装置(MRI装置)(H28.3稼働)</td> <td>H27</td> <td>96</td> <td>812</td> <td>1,468</td> </tr> <tr> <td>全身用コンピュータ断層装置(CT装置)(H28.3稼働)</td> <td>H27</td> <td>316</td> <td>10,315</td> <td>11,299</td> </tr> <tr> <td>心臓血管撮影装置(カテ室2)(H28.1稼働)</td> <td>H27</td> <td>263</td> <td>1,109</td> <td>1,092</td> </tr> <tr> <td>心臓血管撮影装置(カテ室3)(H29.1稼働)</td> <td>H28</td> <td>-</td> <td>201</td> <td>806</td> </tr> <tr> <td>血管撮影装置(H29.10稼働)</td> <td>H29</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>121</td> </tr> <tr> <td>ガンマカメラ(H30.2稼働)</td> <td>H29</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>327</td> </tr> <tr> <td>注射薬自動払出装置(H29.11稼働)</td> <td>H29</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>131</td> </tr> </tbody> </table>	機器名等	整備目的・用途等	血管撮影装置	脳神経外科領域、肝臓内科領域において使用	ガンマカメラ	脳、心臓、甲状腺、悪性腫瘍等の検査で使用	注射薬自動払出装置	注射オーダーによる1施用ごとの注射薬の払い出しに使用	機器名/年度	年度	H27	H28	H29	内視鏡手術支援ロボット(ダ・ヴィンチ)	H24	131	131	119	X線CT装置	H25	26,476	19,368	19,509	エキシマレーザー血管形成装置	H25	14	24	20	ハイブリッド手術システム	H25	700	655	607	手術用顕微鏡	H26	96	146	132	循環器画像保存システム	H26	2,454	2,571	2,681	内視鏡ファイリングシステム	H26	8,518	8,454	8,649	全身用磁気共鳴画像診断装置(MRI装置)(H28.3稼働)	H27	96	812	1,468	全身用コンピュータ断層装置(CT装置)(H28.3稼働)	H27	316	10,315	11,299	心臓血管撮影装置(カテ室2)(H28.1稼働)	H27	263	1,109	1,092	心臓血管撮影装置(カテ室3)(H29.1稼働)	H28	-	201	806	血管撮影装置(H29.10稼働)	H29	-	-	121	ガンマカメラ(H30.2稼働)	H29	-	-	327	注射薬自動払出装置(H29.11稼働)	H29	-	-	131	IV	<p>項目番号 01</p> <p>1 高度医療機器の計画的な更新・整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 新中央診療棟整備にあわせて策定された高度医療機器の中期整備計画により、費用対効果、償還計画、機種選定等の協議を行い、適正な整備を推進する。 老朽化により更新し新たに設置する放射線治療装置(トゥルービーム)は、平成30年4月稼働に向けた準備を行う。 <p>2 医師、看護師、コメディカル等の医療従事者の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 看護職員修学資金貸付などの支援制度を継続実施する。 ガイダンスへの参加、学校訪問等を積極的に行うとともに、インターネットや新聞などの広報媒体を活用し、職員の募集活動を実施する。 定年を向かえた医師、看護師等のうち、病院経営に寄与すると認められる職員の再雇用を実施する。 大学医局との連携などにより引き続き医師確保に努める。 岐阜大学医学部医学科地域枠や東濃地域医師確保奨学金等貸付制度などの医学生を、初期研修医として確保に努める。 医師や看護師の業務負担軽減を推進するため、医師事務作業補助者や看護事務補助者などの確保に努める。 医師事務作業補助者について、診療科ごとのフォローアップ体制を充実させることにより、安定した業務の提供をめざし、さらなる医師の負担軽減を推進する。 実務に即した研修体制を充実させ個人の資質向上を図ることで、質の高い業務の提供を目指す。 仕事と家庭を両立させるため、育児部分休業の活用や、院内保育施設での夜間保育・休日保育・病児保育を引き続き実施するとともに、職員のニーズに柔軟に対応できる体制づくりに努める。 また、新中央診療棟整備事業にともない、院内保育施設移転改築計画の設計を進め、院内保育運営の充実を図る。 	IV	<p>項目番号 01</p> <p>1 高度医療機器の計画的な更新・整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 高度・先進医療、急性期医療、政策医療等が提供できるような病床機能や規模、将来予測等をふまえた新中央診療棟整備の基本設計に着手した。同時に新中央診療棟開院に向けた医療機器の整備について、高額医療機器(3,000万円以上の放射線機器・手術室機器等)の新規購入・更新要望を医療経営コンサルタントのサポートを受けながら取りまとめた。(平成30年度中に高額医療機器以外の医療機器も含めた全体的な整備計画を策定する予定) 平成29年6月30日に放射線治療装置(バリアン社製 True Beam)の納入が完了した。平成30年4月の本格稼働に向け、関係省庁等への許認可手続き、照射量や減衰などのデータ収集を行った。 老朽化に伴い心臓血管撮影装置を最新鋭の高機能機器(シーメンス社製 Artis Zee BC PURE)へ更新整備した。 <p>【更新・整備した主な機器】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名</th> <th>整備目的・用途</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>放射線治療装置(True Beam)</td> <td>がんの放射線治療に使用する。治療時間の短縮化及び被ばく線量の減少による患者負担の軽減、稼働件数の増加による収益向上を見込む。</td> </tr> <tr> <td>心臓血管撮影装置(Artis Zee BC PURE)</td> <td>心疾患の診断(冠動脈血管の状態・心室や弁の動き・心房内の血圧の評価)、治療のための心臓血管造影に使用する。</td> </tr> <tr> <td>超音波画像診断装置</td> <td>超音波画像診断(超音波を利用し生体内の状態を検査)を行う際に使用する。主に小児用に使用する。</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 医師、看護師、コメディカル等の医療従事者の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 麻酔科医の退職により大幅な減員となったが、大学医局との連携や代務医の招聘、医師の斡旋会社の活用により必要な医師の確保に努めた。看護師とその他のコメディカルについては、ガイダンスでの募集活動、学校訪問、地元紙・地域情報誌への求人広告掲載、ホームページでの募集活動、インターネットの求人サイトの活用、就職準備 	機器名	整備目的・用途	放射線治療装置(True Beam)	がんの放射線治療に使用する。治療時間の短縮化及び被ばく線量の減少による患者負担の軽減、稼働件数の増加による収益向上を見込む。	心臓血管撮影装置(Artis Zee BC PURE)	心疾患の診断(冠動脈血管の状態・心室や弁の動き・心房内の血圧の評価)、治療のための心臓血管造影に使用する。	超音波画像診断装置	超音波画像診断(超音波を利用し生体内の状態を検査)を行う際に使用する。主に小児用に使用する。	IV	<p>1 高度医療機器の計画的な更新・整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 病院移転後の財務状況から、高価な機器については補助金等の活用を図ることを更新・整備の条件としている。 平成29年度は補助金の活用により内視鏡ビデオシステムを更新した。 核医学検査装置は補助事業の採択を得られなかったため、平成30年度に各種助成制度等を活用して購入する予定である。 <p>【更新・整備を行った高額医療機器(予定価格2,000万円以上)の稼働件数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名</th> <th>整備年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内視鏡ビデオシステム</td> <td>H25</td> <td>1,059</td> <td>1,664</td> <td>1,691</td> </tr> <tr> <td>X-TV透視診断装置</td> <td>H25</td> <td>311</td> <td>343</td> <td>350</td> </tr> <tr> <td>MRI(超伝導磁気共鳴画像診断装置1.5T)</td> <td>H25</td> <td>3,321</td> <td>3,050</td> <td>3,341</td> </tr> <tr> <td>手術用顕微鏡システム</td> <td>H28</td> <td>-</td> <td>3</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>内視鏡ビデオシステム</td> <td>H29</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>21</td> </tr> </tbody> </table> <p>※H26~27 高額医療機器の整備実績なし ※手術用顕微鏡システム(H28)は、H29.1~3月までの稼働実績 ※内視鏡ビデオシステム(H29)は、H30.3月のみの稼働実績</p> <p>2 医師、看護師、コメディカル等の医療従事者の確保</p> <p>○医師の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 医師募集エージェントへの登録(インターネット等の活用) 募集情報を登録 5社(うち1社:採用情報提供サービスに係る有料契約を締結) 平成29年度 採用(医師) 3名 常勤医不在の診療科(小児科、耳鼻いんこう科、泌尿器科、眼科)及び常勤医不足の診療科については、大学病院・県総合医療センター等からの支援医師(非常勤)により、診療体制を確保して診療を実施し、地域県民ニーズに対応した医療の推進を図った。 <p>【診療依頼延べ回数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>2,008回</td> <td>1,717回</td> <td>1,222回</td> </tr> </tbody> </table> <p>○看護師負担の軽減と看護体制維持に必要な看護師数の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 看護部において、ワークライフバランス(WLB)：仕事とプライベートのバランスをとれるよ 	機器名	整備年度	27年度	28年度	29年度	内視鏡ビデオシステム	H25	1,059	1,664	1,691	X-TV透視診断装置	H25	311	343	350	MRI(超伝導磁気共鳴画像診断装置1.5T)	H25	3,321	3,050	3,341	手術用顕微鏡システム	H28	-	3	6	内視鏡ビデオシステム	H29	-	-	21		27年度	28年度	29年度		2,008回	1,717回	1,222回	III
機器名等	整備目的・用途等																																																																																																																																								
血管撮影装置	脳神経外科領域、肝臓内科領域において使用																																																																																																																																								
ガンマカメラ	脳、心臓、甲状腺、悪性腫瘍等の検査で使用																																																																																																																																								
注射薬自動払出装置	注射オーダーによる1施用ごとの注射薬の払い出しに使用																																																																																																																																								
機器名/年度	年度	H27	H28	H29																																																																																																																																					
内視鏡手術支援ロボット(ダ・ヴィンチ)	H24	131	131	119																																																																																																																																					
X線CT装置	H25	26,476	19,368	19,509																																																																																																																																					
エキシマレーザー血管形成装置	H25	14	24	20																																																																																																																																					
ハイブリッド手術システム	H25	700	655	607																																																																																																																																					
手術用顕微鏡	H26	96	146	132																																																																																																																																					
循環器画像保存システム	H26	2,454	2,571	2,681																																																																																																																																					
内視鏡ファイリングシステム	H26	8,518	8,454	8,649																																																																																																																																					
全身用磁気共鳴画像診断装置(MRI装置)(H28.3稼働)	H27	96	812	1,468																																																																																																																																					
全身用コンピュータ断層装置(CT装置)(H28.3稼働)	H27	316	10,315	11,299																																																																																																																																					
心臓血管撮影装置(カテ室2)(H28.1稼働)	H27	263	1,109	1,092																																																																																																																																					
心臓血管撮影装置(カテ室3)(H29.1稼働)	H28	-	201	806																																																																																																																																					
血管撮影装置(H29.10稼働)	H29	-	-	121																																																																																																																																					
ガンマカメラ(H30.2稼働)	H29	-	-	327																																																																																																																																					
注射薬自動払出装置(H29.11稼働)	H29	-	-	131																																																																																																																																					
機器名	整備目的・用途																																																																																																																																								
放射線治療装置(True Beam)	がんの放射線治療に使用する。治療時間の短縮化及び被ばく線量の減少による患者負担の軽減、稼働件数の増加による収益向上を見込む。																																																																																																																																								
心臓血管撮影装置(Artis Zee BC PURE)	心疾患の診断(冠動脈血管の状態・心室や弁の動き・心房内の血圧の評価)、治療のための心臓血管造影に使用する。																																																																																																																																								
超音波画像診断装置	超音波画像診断(超音波を利用し生体内の状態を検査)を行う際に使用する。主に小児用に使用する。																																																																																																																																								
機器名	整備年度	27年度	28年度	29年度																																																																																																																																					
内視鏡ビデオシステム	H25	1,059	1,664	1,691																																																																																																																																					
X-TV透視診断装置	H25	311	343	350																																																																																																																																					
MRI(超伝導磁気共鳴画像診断装置1.5T)	H25	3,321	3,050	3,341																																																																																																																																					
手術用顕微鏡システム	H28	-	3	6																																																																																																																																					
内視鏡ビデオシステム	H29	-	-	21																																																																																																																																					
	27年度	28年度	29年度																																																																																																																																						
	2,008回	1,717回	1,222回																																																																																																																																						

岐阜県総合医療センター				岐阜県立多治見病院				岐阜県立下呂温泉病院																																																																																																																																																																																										
H29年度計画		年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H29年度計画		年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H29年度計画		年度計画に係る業務実績、法人の自己評価																																																																																																																																																																																								
		<ul style="list-style-type: none"> 特に進捗した取組 その他の主な取組 今後の課題・問題点 (●) 	自己評価			<ul style="list-style-type: none"> 特に進捗した取組 その他の主な取組 今後の課題・問題点 (●) 	自己評価			<ul style="list-style-type: none"> 特に進捗した取組 その他の主な取組 今後の課題・問題点 (●) 	自己評価																																																																																																																																																																																							
2 医師、看護師、コメディカル等の医療従事者の確保 ・必要な医療従事者等を確保するため、職員採用試験の時期・回数をチェックし、計画的・効果的な職員採用に努める。 ・特に7：1看護体制を確保するために、看護師採用を随時実施する。 ・引き続き年俸制を導入し、平成22年度に構築した定年退職者（医師）の再雇用制度を効果的に運用する。 ・医師事務作業補助職員、看護補助職員等の配置を充実させる。		2 医師、看護師、コメディカル等の医療従事者の確保 ・年度当初看護師人数（H28:648人 → H29:638人）は減員したものの、長時間勤務やローテーション維持等についての改善を図るとともに、7：1看護体制を上回る体制を確保できた。 ○医師等の確保状況 単位：人 <table border="1"> <tr><th>項目／年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th></tr> <tr><td>常勤医師数</td><td>167</td><td>166</td><td>171</td></tr> <tr><td>常勤歯科医師数</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td></tr> <tr><td>常勤看護師数</td><td>597</td><td>609</td><td>600</td></tr> </table> ※年度末現在		項目／年度	H27	H28	H29	常勤医師数	167	166	171	常勤歯科医師数	3	3	3	常勤看護師数	597	609	600	3 大学等関係機関との連携や教育研修の充実による優れた医師の養成 ・名古屋大学、名古屋市立大学、岐阜大学等と連携し、関連する各診療科の医師の教育研修等を継続する。 ・岐阜県医師確保育成コンソーシアム及び名古屋大学卒業臨床研修・キャリア形成支援センターと連携し、医師としての資質向上を図る。 ・新専門医制度に対応した専攻医体制を構築する。		資金等の支援制度により、医療従事者の充実を行った。引き続き医師、看護師の必要数確保が課題である。(●) 【医療従事者数】 単位：人 <table border="1"> <tr><th>区分\年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th></tr> <tr><td>医師</td><td>124</td><td>118</td><td>123</td></tr> <tr><td>看護師・助産師</td><td>463</td><td>474</td><td>472</td></tr> <tr><td>コメディカル</td><td>149</td><td>154</td><td>167</td></tr> </table> ※各年度末時点		区分\年度	H27	H28	H29	医師	124	118	123	看護師・助産師	463	474	472	コメディカル	149	154	167	3 大学等関係機関との連携や教育研修の充実による優れた医師の養成 ・岐阜県医師確保育成コンソーシアムの補助金を活用し、外部講師による講演・勉強会を実施した。(計8回実施) ・研修医の資質向上に寄与するため、岐阜県医師確保育成コンソーシアムが岐阜大学で開催する臨床研修指導医講習会に5名が参加し、臨床研修指導医の確保に努めた。 ・内科領域及び外科領域における専門研修プログラムを申請し、内科及び外科にかかる基幹施設の承認を得た。また、その他の診療科においても名古屋大学医学部附属病院を主とする基幹施設の連携施設となっており、初期研修医が当院に在籍したまま後期研修が実施できる体制を整備した。 ・新たな試みとして部長級の医師を対象とした、診療科マネジメント研修を実施した。(計2回実施)		再雇用 ・インターネットや医学専門誌などのメディアの積極的活用による医師の公募 ・県民ニーズに柔軟かつ迅速に対応できるよう非常勤医師を活用 ・医師の業務負担の軽減を図るため、医師事務作業補助者を充実するほか、看護師が医療業務に専念できるように病棟事務補助者の設置に向けた取組 ・再就職支援者研修を開催するなど看護師負担の軽減とともに高い患者サービスも可能な看護体制維持に必要な看護師数の確保		うにする取り組み)の推進に取り組んだ。 ・退職後の看護師が中心となって患者搬送を行う「ポーター制度」を引き続き行い、病棟看護師が部署を離れずケアに専念できるよう取り組んだ。 ・看護の質向上と拘束時間の短縮を目的として、全ての病棟において新たな看護方式「PNS(パートナーシップ・ナーシング・システム)」を試行し、PNSの定着を図った。また、パートナーシップマインドを育成するために、マインド研修を行った(看護師の参加率は95.9%)。 ・WLB推進事業委員会を毎月開催し、院内誌「かえる通信」を通じて、職員紹介、福利厚生情報等の提供を行った。 ・法人化のメリットである弾力的な職員採用(随時募集・年2回の就職試験)を行い、看護体制の維持に必要な看護師・看護補助者等を確保した。 ・再就職支援者研修を2回計画したが、参加者はなかったため、今後は、県看護協会・県ナースセンターが主催する看護職員等就業促進研修事業への参加、院内ポスターの掲示、下呂市が発行する機関誌への掲載など、再就職を支援する。(●)																																																																																																																																																						
項目／年度	H27	H28	H29																																																																																																																																																																																															
常勤医師数	167	166	171																																																																																																																																																																																															
常勤歯科医師数	3	3	3																																																																																																																																																																																															
常勤看護師数	597	609	600																																																																																																																																																																																															
区分\年度	H27	H28	H29																																																																																																																																																																																															
医師	124	118	123																																																																																																																																																																																															
看護師・助産師	463	474	472																																																																																																																																																																																															
コメディカル	149	154	167																																																																																																																																																																																															
3 大学等関係機関との連携や教育研修の充実による優れた医師の養成 岐阜大学医学部附属病院等国内外先進病院への医師の研修派遣者数を増やし、医師をはじめ優れた職員を養成する。 また、高度専門医療の水準の維持・向上のため、専門医や研修指導医等の取得に向けた研修体制の充実を図る。		3 大学等関係機関との連携や教育研修の充実による優れた医師の養成 ・高度専門医療の水準の維持・向上のため、専門医や研修指導医等の取得に向けた研修体制の充実を図り、派遣実績が大幅に増加した。 ○専門医や研修指導医等の取得に向けた研修、学会・セミナー等の派遣実績 H28:803件 → H29:873件 ○医師の研修派遣・受入実績 単位：件 <table border="1"> <tr><th>項目／年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th></tr> <tr><td>派遣</td><td>3</td><td>4</td><td>2</td></tr> <tr><td>受入</td><td>5</td><td>6</td><td>5</td></tr> </table>		項目／年度	H27	H28	H29	派遣	3	4	2	受入	5	6	5	4 認定看護師や専門看護師等の資格取得の促進 ・認定看護師等長期研修5カ年計画に基づき、計画的に認定看護師や専門看護師の資格取得のための研修・講習に参加できる体制を確保し、学会等への参加者が大幅に増加した。		4 認定看護師や専門看護師等の資格取得の促進 ・認定看護師及び専門看護師等の研修派遣を継続して行う。 「がん化学療法看護認定看護師」 「がん専門看護師」 「皮膚・排泄ケア認定看護師」 「透析看護認定看護師」		4 認定看護師や専門看護師等の資格取得の促進 ・専門性の高い看護師を養成するため、認定看護師等長期研修計画に基づき、認定看護師(がん化学療法、皮膚・排泄ケア、透析看護、手術看護)については、平成30年度に認定取得できるように必要な研修への参加を支援した。 ・がん専門看護師については、職員の退職に伴い1人減少したが、新たに1人が資格取得できるよう岐阜県立看護大学大学院への通学の支援を行った。		【看護師等に係る採用活動の実績】 <table border="1"> <tr><th colspan="2">職種別</th><th>27年度</th><th>28年度</th><th>29年度</th></tr> <tr><td rowspan="3">常勤</td><td>看護師</td><td>8</td><td>12</td><td>14</td></tr> <tr><td>助産師</td><td>1</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>保健師</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td rowspan="4">非常勤</td><td>(専門業務)看護師</td><td>3</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>(業務補助)看護師</td><td>5</td><td>1</td><td>-</td></tr> <tr><td>(専門業務)看護補助者</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>(業務補助)看護補助者</td><td>-</td><td>2</td><td>2</td></tr> </table> ※各年度4.1採用者は、前年度の採用状況に含む。		職種別		27年度	28年度	29年度	常勤	看護師	8	12	14	助産師	1	-	-	保健師	-	-	-	非常勤	(専門業務)看護師	3	1	1	(業務補助)看護師	5	1	-	(専門業務)看護補助者	-	-	-	(業務補助)看護補助者	-	2	2																																																																																																																																								
項目／年度	H27	H28	H29																																																																																																																																																																																															
派遣	3	4	2																																																																																																																																																																																															
受入	5	6	5																																																																																																																																																																																															
職種別		27年度	28年度	29年度																																																																																																																																																																																														
常勤	看護師	8	12	14																																																																																																																																																																																														
	助産師	1	-	-																																																																																																																																																																																														
	保健師	-	-	-																																																																																																																																																																																														
非常勤	(専門業務)看護師	3	1	1																																																																																																																																																																																														
	(業務補助)看護師	5	1	-																																																																																																																																																																																														
	(専門業務)看護補助者	-	-	-																																																																																																																																																																																														
	(業務補助)看護補助者	-	2	2																																																																																																																																																																																														
4 認定看護師や専門看護師等の資格取得の促進 より水準の高い看護を提供するため、認定看護師や専門看護師の資格取得を目指す看護師、又は認定看護管理の資格取得を目指す管理者に対しては、中長期的に研修・講習に参加できる体制を引き続き確保する。 ○平成29年度 受講予定 認定看護師2人、認定看護管理4人(ファーストレベル) ○平成29年度 資格試験予定 認定看護師1人		4 認定看護師や専門看護師等の資格取得の促進 ○認定看護師等資格取得状況 単位：人 <table border="1"> <tr><th>項目／年度</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th></tr> <tr><td rowspan="13">認定</td><td>がん化学療法</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td></tr> <tr><td>がん性疼痛</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>感染管理</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td></tr> <tr><td>救急看護</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td></tr> <tr><td>小児救急</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>摂食・嚥下障害</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>皮膚・排泄ケア</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td></tr> <tr><td>新生児集中ケア</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>集中ケア</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td></tr> <tr><td>糖尿病看護</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>がん放射線療法看護</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>乳がん看護</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>認定看護管理者</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td></tr> <tr><td>慢性心不全</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>緩和ケア</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>認知症</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td></tr> <tr><td>計</td><td>22</td><td>23</td><td>25</td></tr> <tr><td rowspan="2">専門</td><td>小児看護</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td></tr> <tr><td>がん看護</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>計</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td></tr> <tr><td>合計</td><td>25</td><td>26</td><td>28</td></tr> </table>		項目／年度	H27	H28	H29	認定	がん化学療法	2	2	2	がん性疼痛	1	1	1	感染管理	3	3	3	救急看護	2	2	2	小児救急	1	1	1	摂食・嚥下障害	1	1	1	皮膚・排泄ケア	3	3	3	新生児集中ケア	1	1	1	集中ケア	1	2	3	糖尿病看護	1	1	1	がん放射線療法看護	1	1	1	乳がん看護	1	1	1	認定看護管理者	2	2	2	慢性心不全	1	1	1	緩和ケア	1	1	1	認知症	0	0	1	計	22	23	25	専門	小児看護	2	2	2	がん看護	1	1	1	計	3	3	3	合計	25	26	28	5 コメディカルに対する専門研修の実施 ・最新の高度医療に対応できる技術・知識を有する職員を養成するため、引き続き国、岐阜県等が主催する講習会、研修会への参加や各種認定資格の取得、維持のための支援を行う。		【認定看護師・専門看護師数】 単位：人(各年度末時点) <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>分野</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th></tr> <tr><td rowspan="11">認定</td><td>皮膚・排泄ケア</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td></tr> <tr><td>集中ケア</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td></tr> <tr><td>緩和ケア</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>がん化学療法看護</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>がん性疼痛看護</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>感染管理</td><td>2</td><td>3</td><td>3</td></tr> <tr><td>新生児集中ケア</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>摂食・嚥下障害看護</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>救急看護</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>慢性心不全看護</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>脳卒中リハビリテーション看護</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> </table>		区分	分野	H27	H28	H29	認定	皮膚・排泄ケア	2	2	2	集中ケア	2	2	2	緩和ケア	1	1	1	がん化学療法看護	1	1	1	がん性疼痛看護	1	1	1	感染管理	2	3	3	新生児集中ケア	1	1	1	摂食・嚥下障害看護	1	1	1	救急看護	1	1	1	慢性心不全看護	1	1	1	脳卒中リハビリテーション看護	1	1	1	【コメディカル(常勤)採用活動の実績】 <table border="1"> <tr><th colspan="2">職種別</th><th>27年度</th><th>28年度</th><th>29年度</th></tr> <tr><td>薬剤師</td><td></td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>臨床検査技師</td><td></td><td>0</td><td>1</td><td>2</td></tr> <tr><td>臨床工学技士</td><td></td><td>1</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>診療放射線技師</td><td></td><td>2</td><td>0</td><td>1</td></tr> <tr><td>理学療法士</td><td></td><td>2</td><td>2</td><td>2</td></tr> <tr><td>言語聴覚士</td><td></td><td>0</td><td>0</td><td>2</td></tr> <tr><td>管理栄養士</td><td></td><td>0</td><td>0</td><td>1</td></tr> <tr><td>社会福祉士</td><td></td><td>0</td><td>2</td><td>0</td></tr> </table> ※各年度4.1採用者は、前年度の採用状況に含む。		職種別		27年度	28年度	29年度	薬剤師		0	0	0	臨床検査技師		0	1	2	臨床工学技士		1	0	0	診療放射線技師		2	0	1	理学療法士		2	2	2	言語聴覚士		0	0	2	管理栄養士		0	0	1	社会福祉士		0	2	0
項目／年度	H27	H28	H29																																																																																																																																																																																															
認定	がん化学療法	2	2	2																																																																																																																																																																																														
	がん性疼痛	1	1	1																																																																																																																																																																																														
	感染管理	3	3	3																																																																																																																																																																																														
	救急看護	2	2	2																																																																																																																																																																																														
	小児救急	1	1	1																																																																																																																																																																																														
	摂食・嚥下障害	1	1	1																																																																																																																																																																																														
	皮膚・排泄ケア	3	3	3																																																																																																																																																																																														
	新生児集中ケア	1	1	1																																																																																																																																																																																														
	集中ケア	1	2	3																																																																																																																																																																																														
	糖尿病看護	1	1	1																																																																																																																																																																																														
	がん放射線療法看護	1	1	1																																																																																																																																																																																														
	乳がん看護	1	1	1																																																																																																																																																																																														
	認定看護管理者	2	2	2																																																																																																																																																																																														
慢性心不全	1	1	1																																																																																																																																																																																															
緩和ケア	1	1	1																																																																																																																																																																																															
認知症	0	0	1																																																																																																																																																																																															
計	22	23	25																																																																																																																																																																																															
専門	小児看護	2	2	2																																																																																																																																																																																														
	がん看護	1	1	1																																																																																																																																																																																														
計	3	3	3																																																																																																																																																																																															
合計	25	26	28																																																																																																																																																																																															
区分	分野	H27	H28	H29																																																																																																																																																																																														
認定	皮膚・排泄ケア	2	2	2																																																																																																																																																																																														
	集中ケア	2	2	2																																																																																																																																																																																														
	緩和ケア	1	1	1																																																																																																																																																																																														
	がん化学療法看護	1	1	1																																																																																																																																																																																														
	がん性疼痛看護	1	1	1																																																																																																																																																																																														
	感染管理	2	3	3																																																																																																																																																																																														
	新生児集中ケア	1	1	1																																																																																																																																																																																														
	摂食・嚥下障害看護	1	1	1																																																																																																																																																																																														
	救急看護	1	1	1																																																																																																																																																																																														
	慢性心不全看護	1	1	1																																																																																																																																																																																														
	脳卒中リハビリテーション看護	1	1	1																																																																																																																																																																																														
職種別		27年度	28年度	29年度																																																																																																																																																																																														
薬剤師		0	0	0																																																																																																																																																																																														
臨床検査技師		0	1	2																																																																																																																																																																																														
臨床工学技士		1	0	0																																																																																																																																																																																														
診療放射線技師		2	0	1																																																																																																																																																																																														
理学療法士		2	2	2																																																																																																																																																																																														
言語聴覚士		0	0	2																																																																																																																																																																																														
管理栄養士		0	0	1																																																																																																																																																																																														
社会福祉士		0	2	0																																																																																																																																																																																														
【医師事務作業補助者採用活動の実績】 <table border="1"> <tr><th colspan="2">職種別</th><th>27年度</th><th>28年度</th><th>29年度</th></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>		職種別		27年度	28年度	29年度																																																																																																																																																																																												
職種別		27年度	28年度	29年度																																																																																																																																																																																														

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院																																																																																																																																																		
H29年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H29年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H29年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価																																																																																																																																																	
	<ul style="list-style-type: none"> 特に進捗した取組 その他の主な取組 今後の課題・問題点 (●) 	自己評価		<ul style="list-style-type: none"> 特に進捗した取組 その他の主な取組 今後の課題・問題点 (●) 	自己評価		<ul style="list-style-type: none"> 特に進捗した取組 その他の主な取組 今後の課題・問題点 (●) 	自己評価																																																																																																																																																
<p>5 コメディカルに対する専門研修の実施</p> <p>診療放射線技師、臨床検査技師、薬剤師等の医療技術者について、専門性の向上に向けた研修・講習会への参加を支援し、高度医療に対する知識・技術を有する職員を養成する。</p> <p>【中央放射線部】</p> <ul style="list-style-type: none"> 医学物理士 救急撮影認定技師 MR専門技術者 放射線治療品質管理士 検診マンモグラフィ師診療放射線技師 診療放射線技師実習施設指導者講習会 PETサマーセミナー 血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師 医療被ばく低減施設認定 その他各種学会、研修会等への参加 <p>【臨床検査科】</p> <ul style="list-style-type: none"> 超音波検査士(循環器、消化器等) 心臓リハビリテーション指導士 認定心電検査技師 日本エコー学会認定検査技師(マスター) 認定一般検査技師 認定救急検査技師 認定輸血検査技師 二級緊急臨床検査士 二級臨床検査技師(微生物学) その他各種学会、研修会等への参加 <p>【薬剤センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> がん専門薬剤師 外来がん治療認定薬剤師 感染制御専門薬剤師 感染制御認定薬剤師 抗菌化学療法認定薬剤師 日本糖尿病療養指導士 栄養サポートチーム(NST)専門療法士 小児薬物療法認定薬剤師 	<p>○研修実績</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>内容</th> </tr> <tr> <td>認定看護師</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 【長期】 がん化学療法 H29.4～H29.9 1人 認知症看護 H29.7～H30.2 1人 【短期】 認定看護管理者(ファースト) H28:0人→H29:3人 医療安全研修 H28:3人→H29:1人 </td> </tr> <tr> <td>学会等参加</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 日本看護学会 全国看護セミナー 日本看護協会研修 岐阜県看護協会研修 その他看護学会等 </td> </tr> </table> <p>○専門研修への参加状況 単位:人</p> <table border="1"> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> <tr> <td>薬剤師</td> <td>214</td> <td>231</td> <td>227</td> </tr> <tr> <td>臨床検査技師</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 臨床検査科</td> <td>146</td> <td>137</td> <td>129</td> </tr> <tr> <td> 病理センター</td> <td></td> <td>37</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td>臨床工学技士</td> <td>23</td> <td>50</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>リハビリ技師</td> <td>58</td> <td>43</td> <td>49</td> </tr> <tr> <td>管理栄養士</td> <td>12</td> <td>15</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>放射線技師</td> <td>94</td> <td>174</td> <td>145</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>547</td> <td>687</td> <td>647</td> </tr> </table> <p>○主な専門研修・講習会等</p> <p>【中央放射線部】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本放射線技術学会 全国自治体病院放射線部会研修会 日本放射線治療セミナー 日本核医学学会 日本磁気共鳴医学会 医学物理士ミニマム講習会 <p>※H29年度資格取得者</p> <ul style="list-style-type: none"> X線CT認定技師1人 救急撮影認定技師2人 アドバンス診療放射線技師1人 <p>【臨床検査科】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本臨床衛生検査技師会 日本超音波学会 日本超音波検査学会 心臓リハビリテーション学会 日本臨床微生物学会 認定心電図検査技師講習会 日本輸血・細胞治療学会 日本心エコー学会 日本検査血液学会 <p>※H29年度資格取得者</p> <ul style="list-style-type: none"> 超音波検査士(体表)1人、(腹部)1人 超音波検査士(循環器領域)1人 	項目	内容	認定看護師	<ul style="list-style-type: none"> 【長期】 がん化学療法 H29.4～H29.9 1人 認知症看護 H29.7～H30.2 1人 【短期】 認定看護管理者(ファースト) H28:0人→H29:3人 医療安全研修 H28:3人→H29:1人 	学会等参加	<ul style="list-style-type: none"> 日本看護学会 全国看護セミナー 日本看護協会研修 岐阜県看護協会研修 その他看護学会等 	項目/年度	H27	H28	H29	薬剤師	214	231	227	臨床検査技師				臨床検査科	146	137	129	病理センター		37	41	臨床工学技士	23	50	36	リハビリ技師	58	43	49	管理栄養士	12	15	20	放射線技師	94	174	145	合計	547	687	647	<p><講習・研修等></p> <ul style="list-style-type: none"> 日本医学物理士講習会 日本放射線技師専門放射線技師認定機構統一講習会 日本放射線治療品質管理機構放射線治療品質管理講習会 その他各種行政機関、各種学術団体の主催する学会、研修会等 <p>臨床検査科</p> <p><支援認定資格></p> <ul style="list-style-type: none"> 細胞検査士 超音波検査士 認定輸血検査技師 認定臨床微生物検査技師 認定血液検査技師 認定病理検査技師 血管診療技師 糖尿病療養指導士 各種臨床検査士 POCコーディネーター その他各種学会認定資格 <p><講習・研修等></p> <ul style="list-style-type: none"> 各種行政機関、各種学術団体の主催する学会、研修会等 労働安全衛生法による作業主任者講習等 <p>臨床工学部</p> <p><支援認定資格></p> <ul style="list-style-type: none"> 体外循環技術認定士 呼吸療法認定士 透析療法認定士 不整脈治療専門認定士 呼吸治療専門認定士 血液浄化専門認定士 内視鏡専門技師 医療機器情報コミュニケーター <p><講習・研修等></p> <ul style="list-style-type: none"> 各種行政機関、各種学術団体の主催する学会、研修会等 <p>リハビリテーション科</p> <p><支援認定資格></p> <ul style="list-style-type: none"> 心臓リハビリテーション指導士 3学会合同呼吸療法認定士 日本糖尿病療養指導士 その他各学会等認定資格 <p><講習・研修等></p> <ul style="list-style-type: none"> がん・緩和リハビリテーションの実務的な研修会 ICU等急性期リハビリテーション関連研修会・学会 内部障害(呼吸器、循環器、内分泌)関連の研修会 摂食嚥下に関する実務的な研修会 手の外科関連研修会 病棟専従療法士の対応研修会 理学療法関連、学会 作業療法関連、学会 言語聴覚関連、学会 その他リハビリテーション関連学会等 <p>栄養管理部</p> <p><支援認定資格></p> <ul style="list-style-type: none"> 糖尿病療養指導士 NST専門療法士 病態栄養管理栄養士 <p><講習・研修会等></p> <ul style="list-style-type: none"> 日本糖尿病学会 静脈経腸栄養学会 病態栄養学会 地域社会振興財団主催管理栄養士研修会 専門資格更新のための学会、研修会 その他栄養関連学会、研修会等 	<table border="1"> <tr> <td>糖尿病看護</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>認知症看護</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>訪問看護</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>認定看護管理者</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>18</td> <td>19</td> <td>19</td> </tr> </table> <p>専門</p> <table border="1"> <tr> <td>がん看護</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>急性・救急看護</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </table> <p>5 コメディカルに対する専門研修の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 最新の高度医療に対応できる技術・知識のある職員を養成するため、学会、研修会等への参加や各種認定資格の取得、維持のため支援を行った。 <p>【資格取得・認定及び学会研修会等の参加状況】</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="3">資格取得・認定件数(件)</th> <th colspan="3">学会研修会等延べ参加者数(人)</th> </tr> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>区分</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> <tr> <td>薬剤師</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>参加発表</td> <td>49 6</td> <td>47 9</td> <td>64 8</td> </tr> <tr> <td>放射線技師</td> <td>12</td> <td>15</td> <td>9</td> <td>参加発表</td> <td>372 27</td> <td>398 33</td> <td>312 25</td> </tr> <tr> <td>臨床検査技師</td> <td>6</td> <td>2</td> <td>7</td> <td>参加発表</td> <td>38 5</td> <td>26 2</td> <td>33 2</td> </tr> <tr> <td>臨床工学技士</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>参加発表</td> <td>26 7</td> <td>22 6</td> <td>26 7</td> </tr> <tr> <td>リハビリ技師</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>参加発表</td> <td>18 2</td> <td>38 1</td> <td>12 4</td> </tr> <tr> <td>管理栄養士</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>参加発表</td> <td>10 1</td> <td>9 1</td> <td>4 1</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>25</td> <td>23</td> <td>25</td> <td>参加発表</td> <td>513 48</td> <td>540 52</td> <td>451 47</td> </tr> </table> <p>6 EBMの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> クリニカルパス推進委員会から各診療科に対し、クリニカルパスの新設や使用率向上の働きかけを行った。各診療科が、クリニカルパスの新設と同時に不要なクリニカルパスの整理に取り組んだ結果、クリニカルパスの総数は減少したが、使用率は平成28年度を4ポイント上回る46.8%となった。 	糖尿病看護	1	1	1	認知症看護	1	1	1	訪問看護	1	1	1	認定看護管理者	1	1	1	小計	18	19	19	がん看護	2	3	2	急性・救急看護	1	1	1	項目	資格取得・認定件数(件)			学会研修会等延べ参加者数(人)			H27	H28	H29	区分	H27	H28	H29	薬剤師	1	1	1	参加発表	49 6	47 9	64 8	放射線技師	12	15	9	参加発表	372 27	398 33	312 25	臨床検査技師	6	2	7	参加発表	38 5	26 2	33 2	臨床工学技士	4	1	4	参加発表	26 7	22 6	26 7	リハビリ技師	2	4	2	参加発表	18 2	38 1	12 4	管理栄養士	0	0	2	参加発表	10 1	9 1	4 1	合計	25	23	25	参加発表	513 48	540 52	451 47	<p>(専門業務)</p> <table border="1"> <tr> <td>医師事務作業補助者</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> </table> <p>※各年度4.1採用者は、前年度の採用状況に含む。</p> <p>3 大学等関係機関との連携や教育研修の充実による優れた医師の養成</p> <p>岐阜大学地域医療医学センター及び岐阜県総合医療センター等の連携により多くの臨床研修医の受入れと指導体制の充実を図り、特に地域医療を志す医師の養成を行う。</p> <p>4 認定看護師等看護の専門性を高める資格取得の促進</p> <p>患者及びその家族に接する機会が多い看護職の専門性の向上及び水準の高い看護を提供するため、各種認定看護師等看護の専門性を高める資格取得を促進する。新卒看護職員卒業研修やラダー研修(キャリアアップの階層研修)を開催し、看護実践能力の習得を支援する。</p> <p>今年度は、感染管理認定看護師の資格取得を目指し1名が受験。認知症及び皮膚排泄ケア分野において2名が認定看護師教育課程入学試験を受験する。</p> <p>質の高い看護のできる看護師の育成のために看護教員養成課程を受講する。</p> <p>また、eラーニング(Electronic Learning)による研修を推進する。</p> <p>5 コメディカルに対する専門研修の実施</p> <p>薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士等の技術職について、研修等を充実し、専門技能の向上を図る。特に、理学療法士等のリハビリ職員については、疾患別体系の担当者別に職員の専門的・実践的研修を実施する。</p> <p>また、学会発表、技師会活動を支援するほか、先進病院への出向研修支援を行い、各種認定資格の取得を促進することで専門性を高</p>	医師事務作業補助者	0	1	2
項目	内容																																																																																																																																																							
認定看護師	<ul style="list-style-type: none"> 【長期】 がん化学療法 H29.4～H29.9 1人 認知症看護 H29.7～H30.2 1人 【短期】 認定看護管理者(ファースト) H28:0人→H29:3人 医療安全研修 H28:3人→H29:1人 																																																																																																																																																							
学会等参加	<ul style="list-style-type: none"> 日本看護学会 全国看護セミナー 日本看護協会研修 岐阜県看護協会研修 その他看護学会等 																																																																																																																																																							
項目/年度	H27	H28	H29																																																																																																																																																					
薬剤師	214	231	227																																																																																																																																																					
臨床検査技師																																																																																																																																																								
臨床検査科	146	137	129																																																																																																																																																					
病理センター		37	41																																																																																																																																																					
臨床工学技士	23	50	36																																																																																																																																																					
リハビリ技師	58	43	49																																																																																																																																																					
管理栄養士	12	15	20																																																																																																																																																					
放射線技師	94	174	145																																																																																																																																																					
合計	547	687	647																																																																																																																																																					
糖尿病看護	1	1	1																																																																																																																																																					
認知症看護	1	1	1																																																																																																																																																					
訪問看護	1	1	1																																																																																																																																																					
認定看護管理者	1	1	1																																																																																																																																																					
小計	18	19	19																																																																																																																																																					
がん看護	2	3	2																																																																																																																																																					
急性・救急看護	1	1	1																																																																																																																																																					
項目	資格取得・認定件数(件)			学会研修会等延べ参加者数(人)																																																																																																																																																				
	H27	H28	H29	区分	H27	H28	H29																																																																																																																																																	
薬剤師	1	1	1	参加発表	49 6	47 9	64 8																																																																																																																																																	
放射線技師	12	15	9	参加発表	372 27	398 33	312 25																																																																																																																																																	
臨床検査技師	6	2	7	参加発表	38 5	26 2	33 2																																																																																																																																																	
臨床工学技士	4	1	4	参加発表	26 7	22 6	26 7																																																																																																																																																	
リハビリ技師	2	4	2	参加発表	18 2	38 1	12 4																																																																																																																																																	
管理栄養士	0	0	2	参加発表	10 1	9 1	4 1																																																																																																																																																	
合計	25	23	25	参加発表	513 48	540 52	451 47																																																																																																																																																	
医師事務作業補助者	0	1	2																																																																																																																																																					

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院			
H29 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H29 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H29 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		
	<ul style="list-style-type: none"> 特に進捗した取組 その他の主な取組 今後の課題・問題点 (●) 	自己評価		<ul style="list-style-type: none"> 特に進捗した取組 その他の主な取組 今後の課題・問題点 (●) 	自己評価		<ul style="list-style-type: none"> 特に進捗した取組 その他の主な取組 今後の課題・問題点 (●) 	自己評価	
<ul style="list-style-type: none"> 緩和薬物療法認定薬剤師 妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師 腎臓病薬物療法認定薬剤師 救急認定薬剤師 上級医療情報技師 その他各種学会、研修会等への参加 	<ul style="list-style-type: none"> 遺伝子分析科学認定士 1 人 心臓リハビリテーション指導士 1 人 緊急臨床検査士 5 人 認定一般検査技師 1 人 検査採取等に関する厚生労働省指定講習会修了者 3 人 		<ul style="list-style-type: none"> 緩和薬物療法認定薬剤師 妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師 腎臓病薬物療法認定薬剤師 救急認定薬剤師 上級医療情報技師 その他各種学会、研修会等への参加 	<ul style="list-style-type: none"> 遺伝子分析科学認定士 1 人 心臓リハビリテーション指導士 1 人 緊急臨床検査士 5 人 認定一般検査技師 1 人 検査採取等に関する厚生労働省指定講習会修了者 3 人 		<ul style="list-style-type: none"> 緩和薬物療法認定薬剤師 妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師 腎臓病薬物療法認定薬剤師 救急認定薬剤師 上級医療情報技師 その他各種学会、研修会等への参加 	<ul style="list-style-type: none"> 遺伝子分析科学認定士 1 人 心臓リハビリテーション指導士 1 人 緊急臨床検査士 5 人 認定一般検査技師 1 人 検査採取等に関する厚生労働省指定講習会修了者 3 人 		
<p>【中央リハビリテーション部】</p> <ul style="list-style-type: none"> がんのリハビリテーション研修 3 学会合同呼吸療法認定士 心臓リハビリテーション指導士 AHA BLS ICLS プロバイダ 日本糖尿病療養指導士 日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士 認定ハンドセラピスト その他各種学会、研修会等への参加 	<p>【病理センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本臨床衛生検査技師会 日本病細胞学会 ※H29 年度資格取得者 検体採取等に関する厚生労働省指定講習会修了者 2 人 細胞検査士 1 人 		<p>【中央リハビリテーション部】</p> <ul style="list-style-type: none"> がんのリハビリテーション研修 3 学会合同呼吸療法認定士 心臓リハビリテーション指導士 AHA BLS ICLS プロバイダ 日本糖尿病療養指導士 日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士 認定ハンドセラピスト その他各種学会、研修会等への参加 	<p>【病理センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本臨床衛生検査技師会 日本病細胞学会 ※H29 年度資格取得者 検体採取等に関する厚生労働省指定講習会修了者 2 人 細胞検査士 1 人 		<p>【中央リハビリテーション部】</p> <ul style="list-style-type: none"> がんのリハビリテーション研修 3 学会合同呼吸療法認定士 心臓リハビリテーション指導士 AHA BLS ICLS プロバイダ 日本糖尿病療養指導士 日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士 認定ハンドセラピスト その他各種学会、研修会等への参加 	<p>【病理センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本臨床衛生検査技師会 日本病細胞学会 ※H29 年度資格取得者 検体採取等に関する厚生労働省指定講習会修了者 2 人 細胞検査士 1 人 		
<p>【栄養センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本糖尿病療養指導士 栄養サポートチーム (NST) 専門療法士 病態栄養認定管理栄養士 がん病態栄養専門管理栄養士 腎臓病病態栄養専門管理栄養士 糖尿病病態栄養専門管理栄養士 摂食嚥下リハビリテーション栄養専門管理栄養士 その他各種学会、研修会等への参加 	<p>【薬剤センター】</p> <p>(医療安全)</p> <ul style="list-style-type: none"> 日病薬 医薬品安全管理責任者等講習会 (マネジメント) 全自病 薬剤管理研修会 (薬剤業務全般) 日病薬 新任薬剤師研修会 日本医療薬学会年会 日病薬 日薬東海ブロック合同学術大会 日本麻酔科学会 周術期セミナー 岐阜県病院協会医学会 岐阜県病院薬剤師会研修会 医療薬学フォーラム 自治体病院薬剤部会研修会 日本小児臨床薬理学会 日本緩和医療薬学会 日本 TDM 学会 ※H29 年度資格取得者 がん専門薬剤師 1 人 化療学会 抗菌化学療法認定薬剤師 1 人 日病薬 感染制御認定薬剤師 1 人 小児薬物療法認定薬剤師 2 人 	<p>7 専門性を発揮したチーム医療の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 個々の役割を確実に遂行することで、チーム医療を継続して推進する。 チームメンバーや関係者との間で情報の共有化と連携を強化し、個性のある医療を提供する。 ICT (感染防止対策チーム)、NST (栄養サポートチーム) や RST (呼吸ケアサポートチーム)、精神科リエゾンチーム、褥瘡対策チーム、PCT (緩和ケアチーム)、糖尿病チームなどの活動を推進する。 	<p>【栄養センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本糖尿病療養指導士 栄養サポートチーム (NST) 専門療法士 病態栄養認定管理栄養士 がん病態栄養専門管理栄養士 腎臓病病態栄養専門管理栄養士 糖尿病病態栄養専門管理栄養士 摂食嚥下リハビリテーション栄養専門管理栄養士 その他各種学会、研修会等への参加 	<p>【薬剤センター】</p> <p>(医療安全)</p> <ul style="list-style-type: none"> 日病薬 医薬品安全管理責任者等講習会 (マネジメント) 全自病 薬剤管理研修会 (薬剤業務全般) 日病薬 新任薬剤師研修会 日本医療薬学会年会 日病薬 日薬東海ブロック合同学術大会 日本麻酔科学会 周術期セミナー 岐阜県病院協会医学会 岐阜県病院薬剤師会研修会 医療薬学フォーラム 自治体病院薬剤部会研修会 日本小児臨床薬理学会 日本緩和医療薬学会 日本 TDM 学会 ※H29 年度資格取得者 がん専門薬剤師 1 人 化療学会 抗菌化学療法認定薬剤師 1 人 日病薬 感染制御認定薬剤師 1 人 小児薬物療法認定薬剤師 2 人 	<p>7 専門性を発揮したチーム医療の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> NST (栄養サポートチーム)、RST (呼吸ケアサポートチーム)、ICT (感染防止対策チーム)、精神科リエゾンチーム、褥瘡対策チーム、PCT (緩和ケアチーム)、糖尿病チーム、医療安全チーム、摂食嚥下チーム、口腔ケアチームによる活動を行った。 	<p>【栄養センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本糖尿病療養指導士 栄養サポートチーム (NST) 専門療法士 病態栄養認定管理栄養士 がん病態栄養専門管理栄養士 腎臓病病態栄養専門管理栄養士 糖尿病病態栄養専門管理栄養士 摂食嚥下リハビリテーション栄養専門管理栄養士 その他各種学会、研修会等への参加 	<p>【薬剤センター】</p> <p>(医療安全)</p> <ul style="list-style-type: none"> 日病薬 医薬品安全管理責任者等講習会 (マネジメント) 全自病 薬剤管理研修会 (薬剤業務全般) 日病薬 新任薬剤師研修会 日本医療薬学会年会 日病薬 日薬東海ブロック合同学術大会 日本麻酔科学会 周術期セミナー 岐阜県病院協会医学会 岐阜県病院薬剤師会研修会 医療薬学フォーラム 自治体病院薬剤部会研修会 日本小児臨床薬理学会 日本緩和医療薬学会 日本 TDM 学会 ※H29 年度資格取得者 がん専門薬剤師 1 人 化療学会 抗菌化学療法認定薬剤師 1 人 日病薬 感染制御認定薬剤師 1 人 小児薬物療法認定薬剤師 2 人 	<p>7 専門性を発揮したチーム医療の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> NST (栄養サポートチーム)、RST (呼吸ケアサポートチーム)、ICT (感染防止対策チーム)、精神科リエゾンチーム、褥瘡対策チーム、PCT (緩和ケアチーム)、糖尿病チーム、医療安全チーム、摂食嚥下チーム、口腔ケアチームによる活動を行った。 	
<p>【臨床工学部】</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療機器安全管理責任者研修会 透析液安全管理責任者セミナー ICLS 認定インストラクター 3 学会合同呼吸療法認定士 体外循環技術認定士 透析技術認定士 その他各種学会、研修会等への参加 	<p>【中央リハビリテーション部】</p> <ul style="list-style-type: none"> 3 学会合同呼吸療法認定士認定講習会 日本高次脳障害学会夏期教育研修 岐阜呼吸管理研究会 摂食・嚥下障害セミナー ※H29 年度資格取得者 呼吸療法認定士 1 人 	<p>8 メディカカードの導入などの IT の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 電子情報媒体導入の可能性を検討する。 	<p>【臨床工学部】</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療機器安全管理責任者研修会 透析液安全管理責任者セミナー ICLS 認定インストラクター 3 学会合同呼吸療法認定士 体外循環技術認定士 透析技術認定士 その他各種学会、研修会等への参加 	<p>【中央リハビリテーション部】</p> <ul style="list-style-type: none"> 3 学会合同呼吸療法認定士認定講習会 日本高次脳障害学会夏期教育研修 岐阜呼吸管理研究会 摂食・嚥下障害セミナー ※H29 年度資格取得者 呼吸療法認定士 1 人 	<p>8 メディカカードの導入などの IT の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 電子情報媒体導入の可能性を検討する。 	<p>7 専門性を発揮したチーム医療の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> インシデントレポートから業務改善に繋がった事例を業務改善計画書として記録し、対策の実施や評価に対して PDCA サイクルを回した。全部署から計 26 事例 (全部署から最低 1 事例) の報告があり、医療安全担当者としての役割の認識を高めるとともに、業務改善につながった。 	<p>【臨床工学部】</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療機器安全管理責任者研修会 透析液安全管理責任者セミナー ICLS 認定インストラクター 3 学会合同呼吸療法認定士 体外循環技術認定士 透析技術認定士 その他各種学会、研修会等への参加 	<p>【中央リハビリテーション部】</p> <ul style="list-style-type: none"> 3 学会合同呼吸療法認定士認定講習会 日本高次脳障害学会夏期教育研修 岐阜呼吸管理研究会 摂食・嚥下障害セミナー ※H29 年度資格取得者 呼吸療法認定士 1 人 	<p>7 専門性を発揮したチーム医療の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> インシデントレポートから業務改善に繋がった事例を業務改善計画書として記録し、対策の実施や評価に対して PDCA サイクルを回した。全部署から計 26 事例 (全部署から最低 1 事例) の報告があり、医療安全担当者としての役割の認識を高めるとともに、業務改善につながった。
	<p>【栄養センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> 全国自治体病院学会 岐阜県病院協会医学会 日本心臓リハビリ学会学術集会 日本静脈経腸栄養学会 日本病態栄養学会年次学術集会 がん専門管理栄養士セミナー ※H29 年度資格取得者 病態栄養認定管理栄養士 1 人 	<p>9 医療安全対策の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> インシデント及びアクシデント事例について分析を行い、再発防止のための安全対策に関する検討会を開催する。 インシデント、アクシデントレポートの集積及び分析を行い、委員会などに置いて分析結果や検討内容を提供し、院内の周知徹底を図る。 現在開催している委員会のほかに、多職種が検討するリスクマネージャー会議を開催し、意識の醸成と院内周知の充実を図る。 医療安全部の人数などの組織再編を 	<p>【栄養センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> 全国自治体病院学会 岐阜県病院協会医学会 日本心臓リハビリ学会学術集会 日本静脈経腸栄養学会 日本病態栄養学会年次学術集会 がん専門管理栄養士セミナー ※H29 年度資格取得者 病態栄養認定管理栄養士 1 人 	<p>9 医療安全対策の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> インシデントレポートの集計、分析を行い、医療安全管理委員会において再発防止策を検討した。その検討結果に基づき管理会議、医局会、看護部安全対策委員会等で注意喚起、周知を図った。 コメディカル各部門の技師長、副技師長クラスを医療安全部に配置する組織再編を行い、カンファレンスや院内ラウンド、医療安全講演会の企画開催等を精力的に実施した。 平成 29 年 4 月 11 日に発生した医療事故について、医療事故調査会の提 	<p>【栄養センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> 全国自治体病院学会 岐阜県病院協会医学会 日本心臓リハビリ学会学術集会 日本静脈経腸栄養学会 日本病態栄養学会年次学術集会 がん専門管理栄養士セミナー ※H29 年度資格取得者 病態栄養認定管理栄養士 1 人 	<p>9 医療安全対策の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> インシデント・アクシデント報告の分析及び改善方策の共有化 リスクマネジメントシステム : Safe Producer を利用し、毎月のインシデント・アクシデント 	<p>【臨床工学部】</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療機器安全管理責任者研修会 透析液安全管理責任者セミナー ICLS 認定インストラクター 3 学会合同呼吸療法認定士 体外循環技術認定士 透析技術認定士 その他各種学会、研修会等への参加 	<p>【中央リハビリテーション部】</p> <ul style="list-style-type: none"> 3 学会合同呼吸療法認定士認定講習会 日本高次脳障害学会夏期教育研修 岐阜呼吸管理研究会 摂食・嚥下障害セミナー ※H29 年度資格取得者 呼吸療法認定士 1 人 	<p>9 医療安全対策の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> インシデント・アクシデント報告の分析及び改善方策の共有化 リスクマネジメントシステム : Safe Producer を利用し、毎月のインシデント・アクシデント

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院																																																										
H29 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H29 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H29 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価																																																									
	・特に進捗した取組	自己評価		・特に進捗した取組	自己評価		・特に進捗した取組	自己評価																																																								
<p>6 EBMの推進</p> <p>ロボット手術をはじめとする鏡視下手術、ハイブリッド手術等の先進的医療を推進するとともに、各診療科において各種疾患診療ガイドラインに基づく標準的診療を安全に効率的に実践する。そのために、現在使用されているクリニカルパスの使用率を向上させ、退院時に評価完了し、改善に繋げる工程を強化する。</p> <p>クリニカルパス大会や研修会を開催して、新規クリニカルパスの登録を推進し、より多くの疾患についてEBMに基づく標準治療が実践できる環境を整える。</p>			<p>6 EBMの推進</p> <p>医療の質の向上を目指したクリニカルパスの作成方法の習得を推進し、チーム医療の意識浸透を図ることを目的とする研修会を1回実施、79人(多職種)の参加を得た。</p> <p>○クリニカルパス作成種類数 単位：種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>336</td> <td>337</td> <td>341</td> </tr> </tbody> </table>		H27	H28	H29	336	337	341	<p>し、カンファレンスや安全ラウンドを充実させる。</p> <p>・医療安全研修会や勉強会、医療安全推進週間を通じて医療安全に対する職員の意識を高める。特に、医療安全講演会は開催回数を増やし、職員が参加しやすくすることで、医療安全に対する意識を高める。</p> <p>・現行の「医療安全管理マニュアル」と「看護部安全対策マニュアル」をまとめ、医療安全対策のマニュアルとして統一する。</p> <p>・医療安全に関する院外研修に積極的に参加をして、安全対策の向上を図る。</p>			<p>言に基づき再発防止策を立てた。再発防止策を確実に実行するため、平成30年2月1日付けで医療安全部へ新たに事務職員を配置し、体制を強化した。</p> <p>【インシデント・アクシデント件数】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>インシデント</td> <td>3,765</td> <td>3,273</td> <td>3,474</td> </tr> <tr> <td>アクシデント</td> <td>30</td> <td>14</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>3,795</td> <td>3,287</td> <td>3,497</td> </tr> </tbody> </table> <p>【医療安全講演会開催実績】 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>テーマ(開催日)</th> <th>参加数</th> <th>DVD研修会</th> <th>参加率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ヒューマンエラーの認知科学(9/26)</td> <td>662</td> <td>231</td> <td>83</td> </tr> <tr> <td>患者誤認防止の取り組み(3/9)</td> <td>546</td> <td>466</td> <td>95</td> </tr> </tbody> </table> <p>※DVD研修会：参加率100%を目指すため実施</p>		区分\年度	H27	H28	H29	インシデント	3,765	3,273	3,474	アクシデント	30	14	23	合計	3,795	3,287	3,497	テーマ(開催日)	参加数	DVD研修会	参加率(%)	ヒューマンエラーの認知科学(9/26)	662	231	83	患者誤認防止の取り組み(3/9)	546	466	95	<p>において、医療総合情報システムを活用し、インシデント及びアクシデントに関する情報の収集及び分析に努め、リスクを回避する方策の立案や、対策実施後の評価等を定期的に討議し、医療事故の再発防止及び予防の徹底を図る。</p> <p>また、分析結果及び改善方策について、医療総合情報システムにより情報の共有化を図る。</p> <p>○安全管理に関する研修体制の充実</p> <p>全職員が患者の安全を最優先にして万全な対応を行うことができるように、情報の収集・分析による医療安全対策の徹底及び医療安全文化の醸成など安全管理に関する研修体制を充実する。</p> <p>今年度も院内全職員を対象にした医療安全推進大会を実施する。</p>			<p>のまとめとインシデントレベル2及び3(事故報告書)について各会議にて分析・検討し対策立案を行った。また、インシデント報告事例で情報共有が必要なものに関して分析を行った。</p> <p>・各部門へのインシデント報告の必要性を周知し、レベル0報告の推進を行った結果、平成28年度より報告数が増えた。</p> <p>・インシデント報告により、各部門間での情報共有につながり改善方法の検討に活かすことができた。</p> <p>【インシデント・アクシデント件数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>インシデント</td> <td>1,233件</td> <td>1,381件</td> <td>1,727件</td> </tr> <tr> <td>アクシデント</td> <td>8件</td> <td>11件</td> <td>13件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,241件</td> <td>1,392件</td> <td>1,740件</td> </tr> </tbody> </table> <p>○医療安全管理に関する研修体制の充実</p> <p>・平成29年度も引き続き、院内全職員を対象にした医療安全推進大会を実施した。</p> <p>・新人教育以外の職員に対して、薬剤の学習会の回数(4回→5回)を増やすなどした結果、学習会参加人数が増えた。</p>		区分	27年度	28年度	29年度	インシデント	1,233件	1,381件	1,727件	アクシデント	8件	11件	13件	計	1,241件	1,392件	1,740件
H27	H28	H29																																																														
336	337	341																																																														
区分\年度	H27	H28	H29																																																													
インシデント	3,765	3,273	3,474																																																													
アクシデント	30	14	23																																																													
合計	3,795	3,287	3,497																																																													
テーマ(開催日)	参加数	DVD研修会	参加率(%)																																																													
ヒューマンエラーの認知科学(9/26)	662	231	83																																																													
患者誤認防止の取り組み(3/9)	546	466	95																																																													
区分	27年度	28年度	29年度																																																													
インシデント	1,233件	1,381件	1,727件																																																													
アクシデント	8件	11件	13件																																																													
計	1,241件	1,392件	1,740件																																																													
<p>7 専門性を発揮したチーム医療の推進</p> <p>医師・看護師・薬剤師他コメディカル等の専門的知識を有した医療従事者が、1人の患者に対してより質の高い医療を提供するために協働及び連携し、情報の共有化を行う。</p> <p>また、チーム医療を進める上で、医療従事者は専門性の高い知識や技術を習得し、ガイドラインやプロトコル等を活用した治療の標準化の浸透を図る。</p>			<p>7 専門性を発揮したチーム医療の推進</p> <p>・異なる職種のメディカルスタッフが連携・協働し、それぞれの専門スキルを発揮することにより、治療やケアに当たることができた。</p> <p>・平成29年度、新たに認知症ケアチームを設置した。</p> <p><主な医療チーム></p> <p>ICT、緩和ケアチーム、呼吸器ケアチーム、褥瘡ケアチーム、口腔ケアチーム、NSTチーム、摂食嚥下チーム、認知症ケアチーム</p>		<p>10 院内感染防止対策の確立</p> <p>・平成28年度に新たに設立した感染管理部において、感染対策の機能充実と院内の連携強化を推進する。</p> <p>・入院患者や職員に感染した場合やアウトブレイク時における迅速かつ適切な対応(早期察知、早期介入、調査、分析、指導)を実践する。</p> <p>・職業感染対策や院内の感染対策の現状を評価し、より効果的な対策につながるようICT(感染防止対策チーム)の活動を継続し、感染対策に対する意識を高める。</p> <p>・感染対策に関する全職員を対象とした研修会を年2回以上開催するとともに、欠席者に対して研修内容が伝達されるようにフォローアップを行う。</p> <p>・ICD(感染症対策専門医)、ICN(感染管理看護師)などの感染対策の資格取得に向けた支援を行う。</p>			<p>10 院内感染防止対策の確立</p> <p>・季節性インフルエンザの院内アウトブレイク対策として、12月から5段階のフェーズからなる警報レベルの管理を継続して実施した。</p> <p>・毎週、細菌検査室から院内分離菌情報の報告を受け、アウトブレイク等のリスク評価を実施した。12月にCRE(カルバペネム耐性腸内細菌科細菌)が2件発見された際には、早期にICT(感染対策チーム：Infection Control Team)が介入し、転院先医療機関や監督官庁との情報共有することにより感染拡大には至らず終息した。</p> <p>・一般社団法人日本感染症学会が主催する「平成29年度院内感染対策講習会」にICTの薬剤師1名が参加した。また、新たにICTの医師1名がICD(感染症対策専門医：Infection Control Doctor)の資格を取得し、感染管理体制を拡充することができた。</p> <p>・感染対策講演会の企画開催、感染対策に関する新規情報や院内の活動状況を掲載したICT通信の発行、院内ラウンド等を通じ、職員への教育および啓発活動に努めた。</p>																																																								
<p>8 メディカカードの導入などのITの活用</p> <p>心臓疾患の患者向けにメディカカードを発行し、救急医療現場での活用を図る。</p>			<p>8 メディカカードの導入などのITの活用</p> <p>・救急医療現場での活用を図るため、心臓疾患の患者にメディカカードの作成を勧めた。(平成29年度末現在の発行枚数は12枚)</p> <p>・また、深夜帯の救急外来において、外部(海外)の放射線専門医による画像コンサルテーションが受けられるよう、システム環境の構築を行った。(平成30年度運用開始予定)</p>		<p>10 院内感染防止対策の確立</p> <p>○院内感染防止マニュアルの整備・周知</p> <p>・院内感染防止に関係する次の8つのマニュアルを改訂し、紙媒体のファイルの差し替え及びグループウェア内の電子版の更新を行った。</p> <p>・院内感染対策指針、感染症に基づく医師の届け出について、標準予防策と感染経路別予防策マニュアル、各種感染対策チェック表、疥癬感染対策マニュアル、血液・体液曝露による職業感染防止マニュアル、使用後器具の処理マニュアル</p> <p>【感染管理教育の実施状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新入転入職員研修</td> <td>4回</td> <td>4回</td> </tr> <tr> <td>全体研修会</td> <td>4回、延652名 ①標準予防策 331名 ②疥癬感染対策 160名 ③ノロウイルス・インフルエンザ 39名 ④疥癬感染対策 122名</td> <td>16回、延559名 ①インフルエンザアウトブレイク 347名 ②手袋の適正使用について 150名 ③流行シーズン前勉強会 5回、33名 ④外来看護師対象PPE(個人防護具)着脱訓練 7回、25名</td> </tr> </tbody> </table>				28年度	29年度	新入転入職員研修	4回	4回	全体研修会	4回、延652名 ①標準予防策 331名 ②疥癬感染対策 160名 ③ノロウイルス・インフルエンザ 39名 ④疥癬感染対策 122名	16回、延559名 ①インフルエンザアウトブレイク 347名 ②手袋の適正使用について 150名 ③流行シーズン前勉強会 5回、33名 ④外来看護師対象PPE(個人防護具)着脱訓練 7回、25名	<p>10 院内感染防止対策の確立</p> <p>・平成28年度に新たに設立した感染管理部において、感染対策の機能充実と院内の連携強化を推進する。</p> <p>・入院患者や職員に感染した場合やアウトブレイク時における迅速かつ適切な対応(早期察知、早期介入、調査、分析、指導)を実践する。</p> <p>・職業感染対策や院内の感染対策の現状を評価し、より効果的な対策につながるようICT(感染防止対策チーム)の活動を継続し、感染対策に対する意識を高める。</p> <p>・感染対策に関する全職員を対象とした研修会を年2回以上開催するとともに、欠席者に対して研修内容が伝達されるようにフォローアップを行う。</p> <p>・ICD(感染症対策専門医)、ICN(感染管理看護師)などの感染対策の資格取得に向けた支援を行う。</p>																																															
	28年度	29年度																																																														
新入転入職員研修	4回	4回																																																														
全体研修会	4回、延652名 ①標準予防策 331名 ②疥癬感染対策 160名 ③ノロウイルス・インフルエンザ 39名 ④疥癬感染対策 122名	16回、延559名 ①インフルエンザアウトブレイク 347名 ②手袋の適正使用について 150名 ③流行シーズン前勉強会 5回、33名 ④外来看護師対象PPE(個人防護具)着脱訓練 7回、25名																																																														
<p>9 医療安全対策の充実</p> <p>安全な医療が提供できるよう医療安全管理マニュアルの改正及び遵守、状況の確認、評価を行う。医療事故調査制度が開始されたことに伴い、重大事故発生時には、これまで以上に速やかに事故調査を実施し発生要因を明らかにするとともに、医療事故の再発防止とリスクを回避するための方策を検討し共有化する。安全管理に関する研修会の内容を充実させ、参加人数を増やすことや医療安全に関するポスター展示を行い、さらなる安全意識の向上を図る。</p> <p>また、病棟会議、部署別会議、リスクマネージャー会議等で医療安全をテーマにした具体的な討論を進める。</p>			<p>9 医療安全対策の充実</p> <p>・発生したインシデント・アクシデント事案については、医療安全管理委員会で検討したうえで、病棟会議や医療安全便りを通じて全職員に周知を図った。特に、重大事案につながる事案については、発生原因を明らかにし、再発防止とリスクを回避する方策を検討した。</p> <p>○インシデント・アクシデント報告数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>レベル0</td> <td>430</td> <td>411</td> <td>409</td> </tr> <tr> <td>レベル1</td> <td>2,007</td> <td>1,804</td> <td>1,850</td> </tr> <tr> <td>レベル2</td> <td>538</td> <td>559</td> <td>502</td> </tr> <tr> <td>レベル3a</td> <td>340</td> <td>326</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td>小計(インシデント)</td> <td>3,315</td> <td>3,100</td> <td>3,061</td> </tr> <tr> <td>レベル3b</td> <td>61</td> <td>68</td> <td>69</td> </tr> <tr> <td>レベル4</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>レベル5</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>小計(アクシデント)</td> <td>61</td> <td>70</td> <td>69</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>3,376</td> <td>3,170</td> <td>3,130</td> </tr> </tbody> </table>		項目/年度	H27	H28	H29	レベル0	430	411	409	レベル1	2,007	1,804	1,850	レベル2	538	559	502	レベル3a	340	326	300	小計(インシデント)	3,315	3,100	3,061	レベル3b	61	68	69	レベル4	0	2	0	レベル5	0	0	0	小計(アクシデント)	61	70	69	合計	3,376	3,170	3,130	<p>【感染対策教育講演会開催実績】 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>テーマ(開催日)</th> <th>参加数</th> <th>DVD研修会</th> <th>参加率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MRSAのアウトブレイクを経験して(8/3)</td> <td>525</td> <td>448</td> <td>91.8%</td> </tr> <tr> <td>季節性インフルエンザ</td> <td>595</td> <td>412</td> <td>94.0%</td> </tr> </tbody> </table>			テーマ(開催日)	参加数	DVD研修会	参加率(%)	MRSAのアウトブレイクを経験して(8/3)	525	448	91.8%	季節性インフルエンザ	595	412	94.0%	
項目/年度	H27	H28	H29																																																													
レベル0	430	411	409																																																													
レベル1	2,007	1,804	1,850																																																													
レベル2	538	559	502																																																													
レベル3a	340	326	300																																																													
小計(インシデント)	3,315	3,100	3,061																																																													
レベル3b	61	68	69																																																													
レベル4	0	2	0																																																													
レベル5	0	0	0																																																													
小計(アクシデント)	61	70	69																																																													
合計	3,376	3,170	3,130																																																													
テーマ(開催日)	参加数	DVD研修会	参加率(%)																																																													
MRSAのアウトブレイクを経験して(8/3)	525	448	91.8%																																																													
季節性インフルエンザ	595	412	94.0%																																																													

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院				岐阜県立下呂温泉病院			
H29 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H29 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			H29 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		
	・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●)	自己評価		・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●)	自己評価	・特に進捗した取組 ・その他の主な取組 ・今後の課題・問題点 (●)		自己評価		
<p>10 院内感染防止対策の確立</p> <p>感染制御チーム（ICT）が中心となり、週1回各部署・部門の視察・指導（院内巡視）を行い、「院内感染対策マニュアル」の遵守状況について確認及び評価を行う。そして、感染防止委員会において、ICT院内巡視後の各部署の新たな感染対策や特に手指衛生向上のための方策についての報告を実施する。</p> <p>また、「感染防止対策マニュアル」は感染症の法改正や、厚生労働省通知に併せて適時改訂し、院内へ周知を図る。</p> <p>感染防止委員会及び感染対策部、ICTが中心となり、全職員を対象とした感染防止研修会を毎月開催し、職員の年2回以上の参加を継続する。</p> <p>さらに、感染症内科医を中心に、毎日細菌検査ミーティングを開催し、抗菌薬の適正使用を推進するとともに、耐性菌発生時には、早期の感染防止対策を指導、実施する。</p> <p>平成26年度に導入した「感染制御支援システム」を駆使して、感染症の発生状況、抗生剤の使用状況、臨床経過などを多面的かつ迅速に把握し、効果的な感染制御を継続する</p>	<p>・医療安全研修会を積極的に開催し、多数の参加を得た。 H28:16回 延べ3,621人→H29:18回 延べ2,960人</p>		<p>対策～アウトブレイクが起きたら～(1/23)</p> <p>※DVD研修会：参加率100%を目指すため実施</p>				<p>⑤薬剤部研修生オンラインセッション 2回、4名</p> <p>・ミニクチャー等感染対策情報：15回 ・岐阜県感染症発生動向調査週報：毎週1回 ・インフルエンザ流行状況： 流行期間中毎日</p>	<p>○ラウンドによる感染対策実施状況のチェック</p> <p>1. ICTラウンド</p> <p>①手指衛生直接観察 ②部署環境チェック（臨床検査部、中央放射線科、リハビリテーション科）</p> <p>2. 月1部署ラウンド：病棟・外来・透析センター・手術室の感染対策環境チェック</p> <p>3. 感染経路別予防策実施状況の確認</p> <p>4. 感染対策地域連携加算算定要件である相互チェック対応ラウンド</p> <p>5. その他：手指衛生環境整備の確認、感染性廃棄物状況の確認、ノロウイルス、インフルエンザ流行シーズン前の確認</p> <p>○院内感染発生に対して</p> <p>・外部機関に報告を要する院内感染事案、アウトブレイク事案はなかった。</p> <p>・単発の院内感染事例発生時は、4M4E分析（具体的要因4点と要因の対策4点の視点で考える分析手法）によって事例を振り返り改善策をあげ、再発防止に取り組んだ。</p>		
	<p>過去の業績報告書に記載された改善方策（改善が完了したものを除く。）</p>	<p>自己評価理由</p> <p>専門医や研修指導医等の取得に向けた研修や看護師の学会等への参加が増加したことに加え、その他にも継続的な取組ができ、項目全体で特に進捗していると評価。</p>		<p>過去の業績報告書に記載された改善方策（改善が完了したものを除く。）</p>	<p>自己評価理由</p> <p>新中央診療棟整備に向けた基本設計の着手、高額医療機器の整備、電子カルテの更新準備、医療安全や感染対策の体制整備が進捗したことに加え、その他も継続的な取組が実施できており、項目全体で特に進捗していると評価</p>	<p>過去の業績報告書に記載された改善方策（改善が完了したものを除く。）</p> <p>コメディカル等の医療従事者の確保 (●)</p> <p>○薬剤師の欠員（1人）が充足できていない状態が続いていることについて、平成29年度は次のような取り組みを行った。</p> <p>・病院のホームページに薬剤部のページを新設し、当院での薬剤師の業務紹介や病院見学受入れなどについて、情報発信を行った。</p> <p>・採用試験の募集要項を、日本病院薬剤師会や岐阜県病院薬剤師会のホームページに掲載しPRを行った。また、薬剤部のある全国の大学へ募集要項を送付した。</p> <p>・臨床実習生（大学5年生）4名を受け入れた。</p> <p>・8月に開催された薬剤部生を対象にした「飛騨高山実地研修」に薬剤部長が参加し、当院のPRを行った。</p> <p>・下呂市就職ガイダンスへの参加、「求人情報げろ」に薬剤師を含む職員募集について掲載し、PRを行った。</p>			<p>自己評価理由</p> <p>医師の確保（3名）、PNS（パートナーシップ・ナーシング・システム）の試行・定着への取り組み、インシデント・アクシデント報告の分析と情報共有の進展、医療安全管理に関する各種研修会への参加者の増、及び院内感染防止マニュアルの改訂や感染管理教育の充実については評価できるが、項目全体としては、平年並みの実績と評価。</p>	
<p>昨年度の評価結果に対する取組状況</p>		<p>昨年度の評価結果に対する取組状況</p>		<p>昨年度の評価結果に対する取組状況</p>						

県立病院法人(三病院共通)委員検証シート

1-1-2 患者・住民サービスの向上

岐阜県総合医療センター		岐阜県立多治見病院		岐阜県立下呂温泉病院																																																																																																																																																																																				
H29 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	H29 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	H29 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価																																																																																																																																																																																			
	<ul style="list-style-type: none"> 特に進捗した取組 その他の主な取組 今後の課題・問題点 (●) 		<ul style="list-style-type: none"> 特に進捗した取組 その他の主な取組 今後の課題・問題点 (●) 		<ul style="list-style-type: none"> 特に進捗した取組 その他の主な取組 今後の課題・問題点 (●) 																																																																																																																																																																																			
<p>項目番号 02</p> <p>1 待ち時間及び検査・手術待ちの改善等</p> <ul style="list-style-type: none"> 待ち時間の実態調査（患者満足度調査「年1回」及びシステムによる調査「年4回」）を実施し、患者からの意見・要望に対して、各部署において改善計画を立案し、積極的に取り組むことで平均待ち時間の短縮を図る。 診察の待ち時間の短縮を図るため、各診療科の診察枠の見直しや診療単価等の分析による患者構成を把握することで病状等に即した医療機能の分化を推進する。 他科の診療情報の共有、他医療機関との連携など医療体制を充実し、業務の効率化とスピード化を図る。 中央採血室における採血待ちや心電図、超音波の待ち時間短縮を図る。 臨床検査科での各種検査の精度管理を推し進め、業務の見直しや新規導入機器を活用し、結果報告までの時間短縮を図る。 継続して地域医療機関との外来予約受付体制の改善を行い、外来予約システムの構築を検討する。 継続して手術枠の効率的な運用を検討し実施することで、手術件数を増大させ手術待ち時間の改善につなげる。 	<p>IV</p> <p>1 待ち時間及び検査・手術待ちの改善等 ＜外来部門＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 検査・診察・治療を患者に合わせてオーダーすることによって、院内滞在時間の縮減を図る取組を継続した。 検査が必要な患者に対しては検査を先に実施 看護師による指導を必要とする患者に対しての指導・説明を待ち時間に実施 入院患者に対する説明の一元化 病診連携による紹介患者については、診察予約時間 30 分以内の診察を徹底 <p>・待ち時間の有効活用に向けた取組を継続した。</p> <p>・待ち時間に待合場所を離れる患者に対して、希望により携帯電話による呼び出しを実施</p> <p>・診療科に即したパンフレットや図書を配置</p> <p>・医療機関からの外来予約について、インターネットを活用しての受付を小児科において継続実施した。</p> <p>・患者満足度調査等による待ち時間の把握患者満足度調査にあわせて、待ち時間調査を実施するとともに、システムによる待ち時間の把握を年4回実施し、状況の把握に努めた。調査の結果、外来患者数が増加し30分以上の待ち時間患者の割合が増加したが、患者満足度調査では平均待ち時間が減少した。</p> <p>○患者満足度調査による平均待ち時間 単位：分</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>28</td> <td>27</td> <td>24</td> </tr> </tbody> </table> <p>※予約時刻と実際の診療開始時刻までの時間</p> <p>○システムによる待ち時間別患者構成率 単位：%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年月／待ち時間</th> <th>～30分</th> <th>30分～2時間</th> <th>2時間～</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28.1</td> <td>41.2</td> <td>49.2</td> <td>9.6</td> </tr> <tr> <td>H29.1</td> <td>51.1</td> <td>43.0</td> <td>5.9</td> </tr> <tr> <td>H30.1</td> <td>47.4</td> <td>45.8</td> <td>6.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>＜臨床検査部門＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 超音波検査（生理検査部門）技師を増員することで、待ち時間の短縮を図った。H28：9.5人 → H29：12人 診療科からの要望に対応し、乳腺エコー室を2部屋で稼働、業務の集約と枠設定の変更を行った。 待ち時間の短縮を図るため、採血開始時間を8時とする取組を継続するとともに、1 		H27	H28	H29		28	27	24	年月／待ち時間	～30分	30分～2時間	2時間～	H28.1	41.2	49.2	9.6	H29.1	51.1	43.0	5.9	H30.1	47.4	45.8	6.8	<p>項目番号 02</p> <p>1 待ち時間及び検査・手術待ちの改善等</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者待ち時間調査を実施し、現状分析による改善策を立案する。 連携予約検査枠の拡大を行うとともに、中央放射線部職員も開業医の訪問活動に同行し、より効果的な広報を行い、高度医療機器利用率の向上を図る。 Web検査予約サービスの導入検討を行い、簡単に検査予約できる体制を整え、多くの検査依頼を受け入れる。 開業医への訪問活動範囲を広げ、具体的なニーズを把握し患者へのサービス増進に取り組む。 当院と開業医との連携体制、役割分担等を患者へ分かりやすく広報する。 よろず相談・かかりつけ医紹介センターを積極的に活用しながら、逆紹介を推進する。 手術待ちの改善に向けて、継続して手術枠の効率的な運用を検討する。 <p>2 院内環境の快適性向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 院内の施設や設備について、新中央診療棟の建設を見据えた維持管理に努める。特に老朽化した空調配管等についての改修を行い、快適な院内環境を推進する。 意見箱に寄せられた施設に関する意見については、内容を精査のうえ、順次対応する。 治療効果を高め、より快適な入院生活を送ることができるよう、より良い食事の提供を目指していく。 化学療法剤の副作用や機能低下などで喫食量が低下した患者へ、早期に介入し喫食量増加を目指す。特別食喫食者の栄養指導も含め、栄養管理を継続的に行っていく。 栄養不良が疑われる患者に対し、NSTの介入で早期改善を目指す。 	<p>III</p> <p>1 待ち時間及び検査・手術待ちの改善等</p> <ul style="list-style-type: none"> 中央放射線及び生理検査について9～12月の4ヶ月間、待ち時間調査を実施した。全体的に予約枠内で遅滞なく検査が実施されており病院全体の平均待ち時間は17分と前年を下回る結果となった。 非常勤放射線技師を午後医療連携業務に専従させて、連携業務や医療機関訪問活動を重点的に実施した結果、CTやMRIといった高度医療機器利用件数が増加した。 午前の手術枠を4枠から6枠に増やしたことで、手術件数が前年比で119件増加した。 <p>【平均待ち時間】 単位：分</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>22</td> <td>20</td> <td>17</td> </tr> </tbody> </table> <p>※待ち時間は病院全体の時間</p> <p>【CT、MRI検査件数】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CT件数</td> <td>29,355</td> <td>29,516</td> <td>32,872</td> </tr> <tr> <td>MRI件数</td> <td>9,862</td> <td>9,833</td> <td>10,208</td> </tr> </tbody> </table> <p>【手術件数】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>手術室</td> <td>4,969</td> <td>4,814</td> <td>4,933</td> </tr> <tr> <td>中放内視鏡</td> <td>2,512</td> <td>2,471</td> <td>2,778</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>7,481</td> <td>7,284</td> <td>7,711</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 院内環境の快適性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 老朽化した東病棟の空調設備（エアハンドリング）修繕工事については、平成28年度から5ヵ年計画で実施している。平成29年度は、2階部分の設備を更新し、院内環境の快適性を向上させた。 治療効果を高めるため、食事制限などのある患者の食事相談や指導をした。また、喫食量の低下した患者や低栄養の患者に対し、NSTが早期に介入し、多職種協同で栄養管理を行い、早期改善に努めた。毎食の残食調査、2ヶ月ごとの嗜好調査を実施し、献立・食材の変更、職員教育の徹底等の見直しに取り組んだ。その結果、嗜好調査で「満足・やや満足」と回答する割合が、年度当初の42%から年度末56%と1年間で14ポイント上昇した。 <p>【喫食量の低下・低栄養患者への取り組み】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>栄養指導</td> <td>4,552</td> <td>5,164</td> <td>5,113</td> </tr> <tr> <td>栄養管理</td> <td>2,017</td> <td>1,044</td> <td>2,140</td> </tr> <tr> <td>NST介入</td> <td>433</td> <td>430</td> <td>442</td> </tr> </tbody> </table>	区分	H27	H28	H29		22	20	17	区分\年度	H27	H28	H29	CT件数	29,355	29,516	32,872	MRI件数	9,862	9,833	10,208	区分\年度	H27	H28	H29	手術室	4,969	4,814	4,933	中放内視鏡	2,512	2,471	2,778	合計	7,481	7,284	7,711	項目\年度	H27	H28	H29	栄養指導	4,552	5,164	5,113	栄養管理	2,017	1,044	2,140	NST介入	433	430	442	<p>項目番号 02</p> <p>1 待ち時間の改善等</p> <p>診療時間の弾力的運用など待ち時間の短縮や待ち時間の過ごし方について、待ち時間等の実態を把握し、総合的な待ち時間対策に取り組む。</p> <p>2 院内環境の快適性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者からの改善要求については、可能な限り改善に努めるとともに、全室個室化をはじめとする施設の利便性を活用し、患者のプライバシーとアメニティの確保に配慮した快適な院内環境づくりに取り組む。 外来患者に対するスムーズな受診体制を充実する。 食材の直接管理による良質な食事や患者個々の嗜好に合わせた主食・主菜の選択や副食の調理形態の変更に取り組む。 院内コンサート等、患者に安らぎを提供する行事の質の向上を図る。 病院運営に寄与するボランティアの積極的な受入れに取り組む。 総合窓口における各種案内業務の迅速な対応に努める。 清掃業務について、機動性のある業務委託とすることによって、清潔な院内スペースの実現に努める。 	<p>III</p> <p>1 待ち時間の改善等</p> <p>○待ち時間対策</p> <ul style="list-style-type: none"> 診察の遅れについては、できるだけ正確に診察の進行状況に係る情報を提供 看護師による待合室の巡視（患者の急変や気分不快等の早期発見に努める）と患者への積極的な声掛けの推進 小児科外来における図書コーナーでの、持ち帰り可能な雑誌等の設置 <p>○外来診療待ち時間調査</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>待ち時間</th> <th colspan="2">27年度</th> <th colspan="2">28年度</th> <th colspan="2">29年度</th> </tr> <tr> <th>・初診患者</th> <th>人数</th> <th>%</th> <th>人数</th> <th>%</th> <th>人数</th> <th>%</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>なし</td> <td>65</td> <td>87</td> <td>45</td> <td>50</td> <td>66</td> <td>81</td> </tr> <tr> <td>1～30分</td> <td>9</td> <td>12</td> <td>39</td> <td>43</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>31～60分</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>7</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>61分以上</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>5</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>待ち時間</th> <th colspan="2">27年度</th> <th colspan="2">28年度</th> <th colspan="2">29年度</th> </tr> <tr> <th>・再診患者</th> <th>人数</th> <th>%</th> <th>人数</th> <th>%</th> <th>人数</th> <th>%</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>なし</td> <td>176</td> <td>76</td> <td>180</td> <td>83</td> <td>197</td> <td>79</td> </tr> <tr> <td>1～30分</td> <td>46</td> <td>20</td> <td>28</td> <td>13</td> <td>35</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>31～60分</td> <td>9</td> <td>4</td> <td>7</td> <td>3</td> <td>11</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>61分以上</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>○患者サービス向上委員会では、ご意見箱からの意見などを院内の掲示板でフィードバックしているほか、院内環境改善についての要望などを検討し、改善に努めた。</p> <p>○院内ラウンド実施回数：4回 主に院内環境面をチェックするラウンドを実施。</p> <p>【主な改善事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> 傘立ての整理、掲示物の点検、除草等の要望、物品の整理整頓等 患者サービス向上委員会が主体となって、病院内の清掃だけでなく、病院周辺の清掃も行った。第1回 6月22日 17:15～17:45 54名 第2回 9月13日 17:15～17:45 51名 ○正面玄関に季節の飾り物を設置し、癒しの空間作りに努めた（七夕、月見、ハロウィン、クリスマス、正月、雛飾り）。 ○院内防犯体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・夜間の防犯体制強化のため、夜8時以降（売店閉店時間）の1階通路を制限するとともに、警備員による巡視点検回数を増やした。 ○個別の栄養管理のため、医師の指示により「栄養管理計画書」を作成し、食事内容及び栄養補給量等について、栄養管理指導を行った。入院患者に対して、食事内容についての理解を促すと共に、必要に応じ患者の要望に応えた食事の提供を実施した。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画書作成件数</td> <td>1,360件</td> <td>1,344件</td> <td>1,558件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">個別指導</td> <td>入院</td> <td>185件</td> <td>203件</td> </tr> <tr> <td>外来</td> <td>195件</td> <td>181件</td> </tr> <tr> <td></td> <td>268件</td> <td>206件</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	待ち時間	27年度		28年度		29年度		・初診患者	人数	%	人数	%	人数	%	なし	65	87	45	50	66	81	1～30分	9	12	39	43	3	4	31～60分	1	1	5	5	7	9	61分以上	0	0	2	2	5	6	待ち時間	27年度		28年度		29年度		・再診患者	人数	%	人数	%	人数	%	なし	176	76	180	83	197	79	1～30分	46	20	28	13	35	14	31～60分	9	4	7	3	11	5	61分以上	1	0	1	1	5	2	区分	27年度	28年度	29年度	計画書作成件数	1,360件	1,344件	1,558件	個別指導	入院	185件	203件	外来	195件	181件		268件	206件	
	H27	H28	H29																																																																																																																																																																																					
	28	27	24																																																																																																																																																																																					
年月／待ち時間	～30分	30分～2時間	2時間～																																																																																																																																																																																					
H28.1	41.2	49.2	9.6																																																																																																																																																																																					
H29.1	51.1	43.0	5.9																																																																																																																																																																																					
H30.1	47.4	45.8	6.8																																																																																																																																																																																					
区分	H27	H28	H29																																																																																																																																																																																					
	22	20	17																																																																																																																																																																																					
区分\年度	H27	H28	H29																																																																																																																																																																																					
CT件数	29,355	29,516	32,872																																																																																																																																																																																					
MRI件数	9,862	9,833	10,208																																																																																																																																																																																					
区分\年度	H27	H28	H29																																																																																																																																																																																					
手術室	4,969	4,814	4,933																																																																																																																																																																																					
中放内視鏡	2,512	2,471	2,778																																																																																																																																																																																					
合計	7,481	7,284	7,711																																																																																																																																																																																					
項目\年度	H27	H28	H29																																																																																																																																																																																					
栄養指導	4,552	5,164	5,113																																																																																																																																																																																					
栄養管理	2,017	1,044	2,140																																																																																																																																																																																					
NST介入	433	430	442																																																																																																																																																																																					
待ち時間	27年度		28年度		29年度																																																																																																																																																																																			
・初診患者	人数	%	人数	%	人数	%																																																																																																																																																																																		
なし	65	87	45	50	66	81																																																																																																																																																																																		
1～30分	9	12	39	43	3	4																																																																																																																																																																																		
31～60分	1	1	5	5	7	9																																																																																																																																																																																		
61分以上	0	0	2	2	5	6																																																																																																																																																																																		
待ち時間	27年度		28年度		29年度																																																																																																																																																																																			
・再診患者	人数	%	人数	%	人数	%																																																																																																																																																																																		
なし	176	76	180	83	197	79																																																																																																																																																																																		
1～30分	46	20	28	13	35	14																																																																																																																																																																																		
31～60分	9	4	7	3	11	5																																																																																																																																																																																		
61分以上	1	0	1	1	5	2																																																																																																																																																																																		
区分	27年度	28年度	29年度																																																																																																																																																																																					
計画書作成件数	1,360件	1,344件	1,558件																																																																																																																																																																																					
個別指導	入院	185件	203件																																																																																																																																																																																					
	外来	195件	181件																																																																																																																																																																																					
	268件	206件																																																																																																																																																																																						

岐阜県総合医療センター		岐阜県立多治見病院		岐阜県立下呂温泉病院																																																																																									
H29 年度計画		H29 年度計画		H29 年度計画																																																																																									
年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		年度計画に係る業務実績、法人の自己評価																																																																																									
<ul style="list-style-type: none"> 特に進捗した取組 その他の主な取組 今後の課題・問題点 (●) 		<ul style="list-style-type: none"> 特に進捗した取組 その他の主な取組 今後の課題・問題点 (●) 		<ul style="list-style-type: none"> 特に進捗した取組 その他の主な取組 今後の課題・問題点 (●) 																																																																																									
<p>ブース（臨時）の増設を図った。 H28：5ブース → H29：6ブース</p> <p>○超音波検査件数（外来分） H28：19,684件→H29：20,542件（4.4%増）</p> <p>○超音波検査待ち時間の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年月／項目</th> <th>総数</th> <th>60分未満</th> <th>～90分</th> <th>90分超</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27.4</td> <td>2,078件</td> <td>72.6%</td> <td>22.2%</td> <td>5.2%</td> </tr> <tr> <td>H28.4</td> <td>2,066件</td> <td>73.9%</td> <td>22.8%</td> <td>3.2%</td> </tr> <tr> <td>H29.4</td> <td>2,110件</td> <td>71.7%</td> <td>24.9%</td> <td>3.4%</td> </tr> </tbody> </table> <p><中央放射線部門> ・CT検査での予約枠を検査内容で装置ごとに振り分ける取組や、MRI検査での時間外検査枠を設ける取組を継続した。</p> <p>○検査件数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度／項目</th> <th>CT 外来</th> <th>CT 入院</th> <th>MRI 外来</th> <th>MRI 入院</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27</td> <td>30,425</td> <td>7,074</td> <td>12,334</td> <td>2,664</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>31,185</td> <td>6,878</td> <td>10,636</td> <td>2,067</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>32,696</td> <td>7,436</td> <td>10,835</td> <td>2,068</td> </tr> </tbody> </table> <p><手術部門> ・手術の内容に応じた手術枠の弾力的運用や手術機材のキット化により手術待ち時間や手術準備時間の短縮を図る取組を継続した。</p> <p>○時間内手術室稼働率・総手術件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>稼働率(単位：%)</td> <td>68.7</td> <td>66.8</td> <td>69.6</td> </tr> <tr> <td>件数(単位：件)</td> <td>7,325</td> <td>7,264</td> <td>7,342</td> </tr> </tbody> </table>		年月／項目	総数	60分未満	～90分	90分超	H27.4	2,078件	72.6%	22.2%	5.2%	H28.4	2,066件	73.9%	22.8%	3.2%	H29.4	2,110件	71.7%	24.9%	3.4%	年度／項目	CT 外来	CT 入院	MRI 外来	MRI 入院	H27	30,425	7,074	12,334	2,664	H28	31,185	6,878	10,636	2,067	H29	32,696	7,436	10,835	2,068	項目／年度	H27	H28	H29	稼働率(単位：%)	68.7	66.8	69.6	件数(単位：件)	7,325	7,264	7,342	<p>3 医療に関する相談体制の充実 ・医療情報に関する相談について、相談しやすい体制の充実を図るため、引き続き地域医療連携センター内の医療連携担当と医療相談担当が、定期的に情報交換会を開催し、相互の情報共有と問題点の洗い出しを行う。 ・患者やその家族からの医療に関する様々な相談に対し、よろず相談・かかりつけ医紹介センターを活用して、迅速に対応する。 ・岐阜県ソーシャルワーカー協会東濃支部主催の研修会（年6回開催）や、国立がん研修センター等の主催する研修会に参加し相談員のスキルアップを図った。特に平成29年度は、がん相談関連の研修に積極的に参加した。</p> <p>【よろず相談・かかりつけ医紹介件数】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>かかりつけ医への紹介</td> <td>251</td> <td>322</td> <td>423</td> </tr> <tr> <td>よろず相談</td> <td>1,480</td> <td>1,129</td> <td>1,434</td> </tr> </tbody> </table> <p>【医療相談件数】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療相談件数</td> <td>12,303</td> <td>14,597</td> <td>15,969</td> </tr> <tr> <td>がん患者サロン（ほっとサロン）相談件数</td> <td>99</td> <td>55</td> <td>58</td> </tr> </tbody> </table> <p>【カルテ開示請求件数・開示件数】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目\年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>請求件数</td> <td>64</td> <td>57</td> <td>61</td> </tr> <tr> <td>開示件数</td> <td>62</td> <td>42</td> <td>57</td> </tr> </tbody> </table>		項目\年度	H27	H28	H29	かかりつけ医への紹介	251	322	423	よろず相談	1,480	1,129	1,434	項目\年度	H27	H28	H29	医療相談件数	12,303	14,597	15,969	がん患者サロン（ほっとサロン）相談件数	99	55	58	項目\年度	H27	H28	H29	請求件数	64	57	61	開示件数	62	42	57	<p>・院内売店の飲食物やアメニティグッズ等について患者ニーズを反映させる。</p> <p>3 医療に関する相談体制の充実 苦情等へ迅速な対応ができる相談受付窓口の更なる活用を図るとともに、PS(PS:Patient Satisfaction) マナー接遇研修会等を通じて職員の接遇意識の向上に努める。 また、検査や薬の相談窓口を開設（医師説明の補助）するほか、放射線被ばくの専門知識を有した被ばく相談員を配置する。</p> <p>4 患者中心の医療の提供 地域で信頼される開かれた医療機関となることを目指し、患者の権利（安全・平等で最善の医療、情報の開示を受け、自己決定できる等）の保証と職員への周知、医療従事者としての倫理観の確立に努める。 また、ピンクリボンキャンペーンの趣旨に賛同し、働く女性に対する休日の検診体制の充実を図る。</p>	
年月／項目	総数	60分未満	～90分	90分超																																																																																									
H27.4	2,078件	72.6%	22.2%	5.2%																																																																																									
H28.4	2,066件	73.9%	22.8%	3.2%																																																																																									
H29.4	2,110件	71.7%	24.9%	3.4%																																																																																									
年度／項目	CT 外来	CT 入院	MRI 外来	MRI 入院																																																																																									
H27	30,425	7,074	12,334	2,664																																																																																									
H28	31,185	6,878	10,636	2,067																																																																																									
H29	32,696	7,436	10,835	2,068																																																																																									
項目／年度	H27	H28	H29																																																																																										
稼働率(単位：%)	68.7	66.8	69.6																																																																																										
件数(単位：件)	7,325	7,264	7,342																																																																																										
項目\年度	H27	H28	H29																																																																																										
かかりつけ医への紹介	251	322	423																																																																																										
よろず相談	1,480	1,129	1,434																																																																																										
項目\年度	H27	H28	H29																																																																																										
医療相談件数	12,303	14,597	15,969																																																																																										
がん患者サロン（ほっとサロン）相談件数	99	55	58																																																																																										
項目\年度	H27	H28	H29																																																																																										
請求件数	64	57	61																																																																																										
開示件数	62	42	57																																																																																										
<p>2 院内環境の快適性向上 ・患者や来院者により快適な環境を提供するため、次期発注工事の内容についても検討を行い、ニーズに合った院内環境の整備に努め、院内施設の案内表示等の改善や病室、待合室、トイレ等を計画的に改修・補修し、快適な院内環境を整備する。 ・患者ニーズを踏まえ、院内売店の飲食物・アメニティグッズ等の種類・量を充実させる。 ・治療効果を上げるための栄養管理を充実し、患者の嗜好にも配慮したメニューを拡充するため、患者嗜好調査を実施し、病院給食の改善を図る。 ・病棟等に設置した「提案箱」に投函された患者からの意見に対して適切な対応を行い、改善・解決に努めるとともに、対応内容等について速やかに院内に掲示することで患者へお知らせし、併せて職員へフィードバックする。</p>		<p>3 医療に関する相談体制の充実 ○医療相談室には、社会福祉士3名（対前年1名増）、看護師3名の計6名の職員が常駐しており、患者・家族からの医療情報に関する相談・苦情について対応した。 問題事象への発展が懸念されるものは情報を速やかに幹部へ報告することを徹底し、組織として初期段階での対応が行えるよう取り組んだ。</p> <p>【相談件数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療福祉相談</td> <td>2,654件</td> <td>4,439件</td> <td>4,128件</td> </tr> </tbody> </table> <p>○接遇マナーの啓発活動の一環として啓蒙ポスターを作成し掲示した。また、平成29年10月に接遇マナーチェックを実施した。委託職員を含む460名に配布、99%の回収率であった。 【マナーチェック結果】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="3">「概ねできている」以上の回答割合</th> </tr> <tr> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>態度・表情等</td> <td>93%</td> <td>91%</td> <td>93%</td> </tr> <tr> <td>身だしなみ</td> <td>92%</td> <td>95%</td> <td>95%</td> </tr> <tr> <td>電話対応</td> <td>84%</td> <td>84%</td> <td>85%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※設問毎の平均割合</p>		項目	27年度	28年度	29年度	医療福祉相談	2,654件	4,439件	4,128件	項目	「概ねできている」以上の回答割合			27年度	28年度	29年度	態度・表情等	93%	91%	93%	身だしなみ	92%	95%	95%	電話対応	84%	84%	85%	<p>4 患者中心の医療の提供 ○カルテ等の医療情報開示は、診療情報の提供に関する指針等に基づき対応した。 【カルテ開示請求件数・開示件数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>請求件数</td> <td>10件</td> <td>7件</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>開示件数</td> <td>10件</td> <td>7件</td> <td>2件</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ピンクリボンキャンペーン（乳がん検診の早期受診推進運動）への賛同 マンモグラフィ（乳房X線診断装置）乳がん無料検診を実施した（平成29年10月15日）。平成23年度から経費の一部は寄付金を活用しており、検査料は無料（定員30名）。平成29年度は10名が受診したものの、前年度から減少した。 これまでは、「1度でもピンクリボン運動で受診したことがある方は除外する」としていたが、「直近の3年間にピンクリボン運動により受診したことがある方は除外する」というように条件を緩和することにより受診者数の増加・回復に努める。(●)</p> <p>【乳がん無料検診数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>29名</td> <td>27名</td> <td>10名</td> </tr> </tbody> </table>		項目	27年度	28年度	29年度	請求件数	10件	7件	2件	開示件数	10件	7件	2件	27年度	28年度	29年度	29名	27名	10名																																											
項目	27年度	28年度	29年度																																																																																										
医療福祉相談	2,654件	4,439件	4,128件																																																																																										
項目	「概ねできている」以上の回答割合																																																																																												
	27年度	28年度	29年度																																																																																										
態度・表情等	93%	91%	93%																																																																																										
身だしなみ	92%	95%	95%																																																																																										
電話対応	84%	84%	85%																																																																																										
項目	27年度	28年度	29年度																																																																																										
請求件数	10件	7件	2件																																																																																										
開示件数	10件	7件	2件																																																																																										
27年度	28年度	29年度																																																																																											
29名	27名	10名																																																																																											

岐阜県総合医療センター		岐阜県立多治見病院		岐阜県立下呂温泉病院																																																																																																																																										
H29 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	H29 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	H29 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価																																																																																																																																									
	<ul style="list-style-type: none"> 特に進捗した取組 その他の主な取組 今後の課題・問題点 (●) 	自己評価		<ul style="list-style-type: none"> 特に進捗した取組 その他の主な取組 今後の課題・問題点 (●) 	自己評価																																																																																																																																									
<p>・地域住民等による院内ボランティアや院内コンサート等により、患者等が安心して快適に利用できる院内環境を提供する。</p> <p>3 医療に関する相談体制の充実 総合相談センターに相談担当者が常駐する相談窓口を設置し、関係部署との連携を図り、診療内容、在宅支援、苦情、就労支援をはじめあらゆる相談に迅速に対応可能なシステムを整える。 また、毎週、カンファレンスを開催し、問題事項についてスタッフ間で協議する。 提案箱も含め、意見、苦情に対して積極的に対応し、内容を公表していく。 院内の外国語表示を増やすとともに、各国語に対応できる通訳体制を充実させる。 特に、がん診療連携拠点病院としてのがん相談支援センター機能を充実させ、がん相談件数の増加を図る。</p> <p>4 患者中心の医療の提供 当センターが掲げる「患者さんの権利と責務」（「平等に安全で良質な医療を受ける権利」、「十分な説明と助言のもとに患者自身の医療を決定する権利」、「セカンドオピニオンを受ける権利」、「個人のプライバシーが守られる権利」、「医療従事者と協力して医療に参加する責務」）を推進し、県民に信頼され、患者本位の安全で良質な全人的医療を提供する。また、これらの考えを院内・WEBページに掲示し情報発信を行う。</p> <p>5 インフォームド・コンセントの徹底、セカンドオピニオンの推進 治療にあたって必要な情報を患</p>	<p>3 医療に関する相談体制の充実 ・毎週木曜日にカンファレンスを開催し、医療相談に係る問題事項についての協議を行った。 ・外国人の受診を支援するため、県国際交流センターに医療通訳ボランティアの派遣を引き続き依頼するとともに、職員による対応を行った。特に職員による対応件数が増加した。</p> <p>○医療相談件数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>4,687</td> <td>4,914</td> <td>4,794</td> </tr> </tbody> </table> <p>○カンファレンスで協議した事項及び件数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病院の環境</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>患者等からの相談</td> <td>32</td> <td>28</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>患者相談対応力向上のための事例検討</td> <td>7</td> <td>17</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>患者等からの苦情</td> <td>40</td> <td>39</td> <td>52</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>22</td> <td>12</td> <td>24</td> </tr> </tbody> </table> <p>○医療通訳病院職員対応件数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中国語</td> <td>145</td> <td>205</td> </tr> <tr> <td>英語</td> <td>255</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>スペイン語、他</td> <td>227</td> <td>383</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>627</td> <td>788</td> </tr> </tbody> </table> <p>※雇用 H28.4:1人（非常勤事務職）→ H29.10:1人（医療通訳業務専門職）</p> <p>○医療通訳ボランティア派遣件数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ポルトガル語</td> <td>258</td> <td>184</td> <td>205</td> </tr> <tr> <td>中国語</td> <td>23</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>タガログ語</td> <td>50</td> <td>28</td> <td>48</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>331</td> <td>212</td> <td>253</td> </tr> </tbody> </table> <p>○カルテ開示請求・開示件数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>請求件数</td> <td>133</td> <td>172</td> <td>128</td> </tr> <tr> <td>開示件数</td> <td>126</td> <td>166</td> <td>119</td> </tr> </tbody> </table>	項目／年度	H27	H28	H29		4,687	4,914	4,794	項目／年度	H27	H28	H29	病院の環境	5	3	3	患者等からの相談	32	28	18	患者相談対応力向上のための事例検討	7	17	8	患者等からの苦情	40	39	52	その他	22	12	24	項目／年度	H28	H29	中国語	145	205	英語	255	200	スペイン語、他	227	383	合計	627	788	項目／年度	H27	H28	H29	ポルトガル語	258	184	205	中国語	23	0	0	タガログ語	50	28	48	合計	331	212	253	項目／年度	H27	H28	H29	請求件数	133	172	128	開示件数	126	166	119	<p>5 インフォームド・コンセントの徹底、セカンドオピニオンの推進 ・治療に必要な情報を患者が理解できる言葉で、提供、説明し、患者自らの判断で治療方針等を選択できるようインフォームド・コンセントを徹底する。 ・インフォームド・コンセントにおける同意書と説明書の見直し及び電子カルテへの対応を進める。 ・セカンドオピニオンについては、院内や病院のホームページに掲示し、相談者からの申し出には、医療連携室を窓口として、相談件数の増加を図る。また、がんの種類別に医師を選任し、相談に応じる。</p> <p>6 患者や周辺住民からの病院運営に関する意見の反映 ・地域住民等と病院とで構成する「多治見病院運営協議会」を開催し、地域住民のニーズを把握する。</p>	<p>5 インフォームド・コンセントの徹底、セカンドオピニオンの推進 ・電子カルテ内のインフォームド・コンセントにおける同意書と説明書の見直しを行い、旧様式から新様式への編集・移行作業を完了させた。よりの確なインフォームド・コンセントを実施できる体制を整えた。 ・セカンドオピニオンについては、受診希望者に対し、医療連携室が窓口となり一元的に対応し、引き続き迅速な予約体制を維持した。</p> <p>【セカンドオピニオン実施件数】単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外来受入</td> <td>20</td> <td>6</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>他院紹介</td> <td>70</td> <td>61</td> <td>76</td> </tr> </tbody> </table> <p>6 患者や周辺住民からの病院運営に関する意見の反映 ・地域住民等と病院とで構成する「多治見病院運営協議会」を開催し、病院施設の整備（新中央診療棟、立体駐車場、保育所建設）、がん放射線治療装置の拡充整備、地域医療連携の取り組み等をテーマに意見交換を行った。 ・患者サービスに努めた結果、日本病院会「Q Iプロジェクト」での患者満足度調査では、全国Q Iプロジェクト参加病院の中では高い満足度を得ることができた。</p> <p>【満足度調査の比較】 単位：%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目 \ 年度</th> <th colspan="3">満足度</th> </tr> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">入院</td> <td>当院</td> <td>95.6</td> <td>98.1</td> <td>95.5</td> </tr> <tr> <td>QIプロジェクト参加病院（平均値）</td> <td>89.3</td> <td>89.1</td> <td>89.9</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">外来</td> <td>当院</td> <td>87.2</td> <td>87.7</td> <td>87.2</td> </tr> <tr> <td>QIプロジェクト参加病院（平均値）</td> <td>81.7</td> <td>83.0</td> <td>82.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ QIプロジェクトデータを全て引用</p>	区分\年度	H27	H28	H29	外来受入	20	6	5	他院紹介	70	61	76	項目 \ 年度	満足度			H27	H28	H29	入院	当院	95.6	98.1	95.5	QIプロジェクト参加病院（平均値）	89.3	89.1	89.9	外来	当院	87.2	87.7	87.2	QIプロジェクト参加病院（平均値）	81.7	83.0	82.5	<p>5 インフォームド・コンセントの徹底、セカンドオピニオンの推進 患者自らが選択し納得できる医療を提供するため、インフォームド・コンセントの徹底、セカンドオピニオンを推進する。</p> <p>【セカンドオピニオン実施件数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外来受入</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>他院紹介</td> <td>3件</td> <td>1件</td> <td>1件</td> </tr> </tbody> </table> <p>※セカンドオピニオン外来は標榜しておらず、一般外来として受け入れ。</p> <p>6 患者や周辺住民からの病院運営に関する意見の反映 各種アンケートの実施など様々な機会を捉え、患者等から意見を聴取し、これを基に対応策を取った。</p> <p>○退院時アンケート調査を11月に実施。 ・対象患者数：退院133名、回答者111名（回収率83.5%） ・施設・接遇・診療・サービスに対する説明等計4項目</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>アンケート項目</th> <th>「良い」以上の評価割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施設面</td> <td>81%</td> </tr> <tr> <td>接遇面</td> <td>86%</td> </tr> <tr> <td>診療面</td> <td>94%</td> </tr> <tr> <td>サービス面</td> <td>90%</td> </tr> </tbody> </table> <p>○院内に設置してある「ご意見箱」に投函された意見について、院内の掲示板でフィードバックするなど、患者サービス向上委員会が中心になり改善に努めた。 御礼・感謝7件、苦情20件、要望9件、計36件</p> <p>○病院周辺道路の整備要望 来院者の安全確保を図るため、病院周辺道路の整備を国土交通省（高山国道事務所）や下呂市に要望し、舗装の補修等の実施につながった。</p> <p>○地域住民との交流 ・「看護の日」等を活用し、患者やその家族・外来受診者を対象に健康チェック・健康相談を行い、地域の人々との交流に努めた。 平成29年6月27日：81名 平成29年9月30日：88名 計169名 ・下呂温泉祭り行事協力 「いで湯卓球大会」「龍神火祭り」8月1日～3日、「花火」等救護班10名 ・病院運営協議会（実施日：平成29年12月5日） 地域住民の代表者に参集いただき、病院の財務状況や取組を紹介し、病院の今後のあり方等について意見交換を行った。</p>	項目	27年度	28年度	29年度	外来受入	—	—	—	他院紹介	3件	1件	1件	アンケート項目	「良い」以上の評価割合	施設面	81%	接遇面	86%	診療面	94%	サービス面	90%
項目／年度	H27	H28	H29																																																																																																																																											
	4,687	4,914	4,794																																																																																																																																											
項目／年度	H27	H28	H29																																																																																																																																											
病院の環境	5	3	3																																																																																																																																											
患者等からの相談	32	28	18																																																																																																																																											
患者相談対応力向上のための事例検討	7	17	8																																																																																																																																											
患者等からの苦情	40	39	52																																																																																																																																											
その他	22	12	24																																																																																																																																											
項目／年度	H28	H29																																																																																																																																												
中国語	145	205																																																																																																																																												
英語	255	200																																																																																																																																												
スペイン語、他	227	383																																																																																																																																												
合計	627	788																																																																																																																																												
項目／年度	H27	H28	H29																																																																																																																																											
ポルトガル語	258	184	205																																																																																																																																											
中国語	23	0	0																																																																																																																																											
タガログ語	50	28	48																																																																																																																																											
合計	331	212	253																																																																																																																																											
項目／年度	H27	H28	H29																																																																																																																																											
請求件数	133	172	128																																																																																																																																											
開示件数	126	166	119																																																																																																																																											
区分\年度	H27	H28	H29																																																																																																																																											
外来受入	20	6	5																																																																																																																																											
他院紹介	70	61	76																																																																																																																																											
項目 \ 年度	満足度																																																																																																																																													
	H27	H28	H29																																																																																																																																											
入院	当院	95.6	98.1	95.5																																																																																																																																										
	QIプロジェクト参加病院（平均値）	89.3	89.1	89.9																																																																																																																																										
外来	当院	87.2	87.7	87.2																																																																																																																																										
	QIプロジェクト参加病院（平均値）	81.7	83.0	82.5																																																																																																																																										
項目	27年度	28年度	29年度																																																																																																																																											
外来受入	—	—	—																																																																																																																																											
他院紹介	3件	1件	1件																																																																																																																																											
アンケート項目	「良い」以上の評価割合																																																																																																																																													
施設面	81%																																																																																																																																													
接遇面	86%																																																																																																																																													
診療面	94%																																																																																																																																													
サービス面	90%																																																																																																																																													

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院														
H29年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H29年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H29年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価													
	<ul style="list-style-type: none"> 特に進捗した取組 その他の主な取組 今後の課題・問題点 (●) 	自己評価		<ul style="list-style-type: none"> 特に進捗した取組 その他の主な取組 今後の課題・問題点 (●) 	自己評価		<ul style="list-style-type: none"> 特に進捗した取組 その他の主な取組 今後の課題・問題点 (●) 	自己評価												
<p>者が理解できる言葉で提供、説明し、納得のもとに自身の治療方針を決定できるようにインフォームド・コンセントを徹底させる。侵襲的検査・治療、重大な病状説明の場合には看護師等が同席する。</p> <p>治療や検査を受ける際に、患者の権利として他施設医師のセカンドオピニオンを受けやすい環境を整備する。同時に当センターのセカンドオピニオン外来を充実させ、相談件数の増加を図る。</p> <p>6 患者や周辺住民からの病院運営に関する意見の反映</p> <p>運営の透明性を図り、患者のみならず地域住民からも信頼が得られる病院とするため、外部有識者を構成員とする「岐阜県総合医療センター運営協議会」を開催し、病院の運営、施設・環境及び患者サービス等に関する意見を聴取する。</p> <p>また、患者満足度調査を実施し、当センターの運営・管理に反映させる。</p>	<p>けやすい環境を整備した。</p> <p>○セカンドオピニオン実施件数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外来受入</td> <td>23</td> <td>26</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>他院紹介</td> <td>59</td> <td>71</td> <td>65</td> </tr> </tbody> </table> <p>6 患者や周辺住民からの病院運営に関する意見の反映</p> <ul style="list-style-type: none"> 岐阜県総合医療センター運営協議会を2回開催し、地域の代表者等と意見交換を実施した。 平成29年9月に病院の運営、施設・環境及び患者サービス等に関する患者満足度調査を実施し、その結果をホームページで公表するとともに、身だしなみチェックやあいさつの啓発等具体的な取組を実施した。 	項目／年度	H27	H28	H29	外来受入	23	26	30	他院紹介	59	71	65							
項目／年度	H27	H28	H29																	
外来受入	23	26	30																	
他院紹介	59	71	65																	
過去の実績報告書に記載された改善方策（改善が完了したものを除く。）	自己評価理由		過去の実績報告書に記載された改善方策（改善が完了したものを除く。）	自己評価理由		過去の実績報告書に記載された改善方策（改善が完了したものを除く。）	自己評価理由													
昨年度の評価結果に対する取組状況	各部門による取組の結果、待ち時間の短縮が図られたのに加え、その他にも継続的な取組が実施できており、項目全体で特に進捗していると評価。		昨年度の評価結果に対する取組状況	待ち時間の短縮、効率的な検査・手術の施行による件数増や相談件数の増加がみられたが、項目全体では、平年並みに実績と評価		昨年度の評価結果に対する取組状況	医療相談室の相談体制について、社会福祉士の1名増(計3名)により、医療に関する相談体制の充実を図ったことについては評価できるが、項目全体としては、平年並みの実績と評価。													

県立病院法人(三病院共通)委員検証シート

1-1-3 診療体制の充実

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院																																																														
H29 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H29 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H29 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価																																																													
	・特に進捗した取組	自己評価		・特に進捗した取組	自己評価		・特に進捗した取組	自己評価																																																												
<p>項目番号 03</p> <p>1 患者動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実</p> <p>地域の医療機関、福祉施設をつなぐ架け橋として、患者やその家族が安心して医療が受けられる地域に開かれた「地域医療支援病院」としての機能を果たす。そのため、「地域医療連携センター部」(「病診連携部」、「退院サポート部」、「連携パス部」)、「総合相談センター」(「なんでも相談室」)の機能をさらに充実させ、患者動向や医療需要も把握し、診療体制の整備・充実を図る。</p> <p>また、時間外にも病診連携部での診療予約を継続し、患者や地域医療機関の利便性を高める。</p> <p>2 多様な専門職の積極的な活用</p> <p>高度な専門性を有する医師等医療従事者の外部からの登用にあたり、その専門性に応じた処遇が可能となる人事給与制度の更なる活用を図る。</p> <p>また、定年退職者の再雇用制度を活用し、定年を迎えた職員について引き続き質の高い医療の提供に寄与する医師等医療従事者の雇用の充実を図る。</p>	<p>1 患者動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者動向や医療需要の変化に対応した組織改編等に積極的に取り組んだことにより、患者に対してよりきめ細やかなサービスを提供することができた。 認知症看護認定看護師を採用し、認知症ケアセンターを整備することで、平成 29 年 7 月 1 日に「認知症ケア加算 1」を取得した。 <p>○組織・診療科等の新設</p> <ul style="list-style-type: none"> ○消化器病センターの再編 <ul style="list-style-type: none"> ・胆膵内科の新設 ・内視鏡治療部を内視鏡部へ統合 ○認知症ケアセンターの新設 ○中央放射線部の再編 <ul style="list-style-type: none"> ・診療支援画像センター及び高次元放射線治療センターの新設(放射線診断部門と放射線治療部門の分離) <p>2 多様な専門職の積極的な活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年俸制による雇用制度を活用し、高度な専門性を有する医師を引き続き登用した。 年俸制医師 H28:7 人 → H29:7 人 ・職員の再雇用制度を活用し、質の高い医療の提供に寄与すると認められる医療従事者を再雇用し、更なる充実を図った。 医師 H28:0 人 → H29:1 人 看護師 H28:3 人 → H29:3 人 診療放射線技師 H28:3 人 → H29:3 人 臨床検査技師 H28:2 人 → H29:2 人 薬剤師 H28:2 人 → H29:1 人 管理栄養士 H28:0 人 → H29:1 人 	IV	<p>項目番号 03</p> <p>1 患者動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療連携センターと医事課が中心となり、院内各部門と連携しながら、患者動向や地域の医療機関の状況把握・データ分析、地域連携クリニカルパスの運用、入院初期段階からの転院・退院調整等の充実に努める。 現在中病棟 4 階にある透析センターを東病棟 7 階に移設し、透析ベッドを 6 床から 15 床に拡充し、「血液浄化センター」として急性期患者の透析ベッド不足の解消を図る。 近隣病院の診療体制を把握し、効率的な病病連携を推進する。 公益財団法人日本医療機能評価機構の病院機能評価(3rdG:ver.1.1)の受審結果から改善点を踏まえ、今後より良い医療環境や患者のニーズに応じた質の高い診療体制の充実を図る。 <p>2 多様な専門職の積極的な活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き再雇用制度等を基に、必要な職員の確保に努める。 ・定年を迎えた職員のうち、質の高い医療の提供に寄与すると認められる医療従事者の再雇用を充実する。 	<p>1 患者動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療連携センターが中心となり、開業医への訪問活動、地域医療連携推進協議会、可児・東濃地域病病連携推進会議、地域連携クリニカルパス合同委員会、健康づくり講座等に取り組んだ。 特に開業医への訪問活動は 100 件、健康づくり講座は過去最多の 20 回と精力的に取り組み、新たに医療連携交流会(講演会及び開業医と当院医師の意見交換会)を企画・開催した。これらの活動を通じ、地域の医療ニーズを聴取し、院内関係部門と情報を共有するとともに連携予約体制や地域連携パスの運用方法の検討等を行い診療体制の充実を図った。 透析センターを中病棟 4 階から東病棟 7 階に移設し、血液浄化センターとして、平成 29 年 4 月から運営を開始した。透析ベッドの増床(6 床→15 床)に伴い、血液浄化業務が大幅に増加した。透析導入期の患者に対する診療体制を整備することができた。 <p>【連携予約状況】 単位:件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>整形外科</td> <td>1,019</td> <td>1,217</td> <td>1,213</td> </tr> <tr> <td>神経内科</td> <td>871</td> <td>880</td> <td>818</td> </tr> <tr> <td>消化器内科</td> <td>1,738</td> <td>1,675</td> <td>1,715</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>9,604</td> <td>10,028</td> <td>10,732</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>13,232</td> <td>13,800</td> <td>14,478</td> </tr> </tbody> </table> <p>【訪問活動・健康づくり講座】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>訪問活動(件)</td> <td>44</td> <td>17</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>健康づくり講座(回)</td> <td>12</td> <td>15</td> <td>20</td> </tr> </tbody> </table> <p>【医療連携交流会】新規 単位:人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分\年度</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>院外参加者数</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>院内参加者数</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>75</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 多様な専門職の積極的な活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再雇用制度を活用し、定年を迎えた高い専門性を有する職員を再雇用し、安定的な診療体制の充実を図った。(看護師・准看護師 12 名、診療放射線技師 2 名、事務職員 2 名) ・看護師の業務負担軽減のため、新たに介護福祉士 14 名とヘルパー 5 名を採用し、病棟に配置した。 	区分\年度	H27	H28	H29	整形外科	1,019	1,217	1,213	神経内科	871	880	818	消化器内科	1,738	1,675	1,715	その他	9,604	10,028	10,732	合計	13,232	13,800	14,478	区分\年度	H27	H28	H29	訪問活動(件)	44	17	100	健康づくり講座(回)	12	15	20	区分\年度	H29	院外参加者数	35	院内参加者数	40	合計	75	IV	<p>項目番号 03</p> <p>1 患者動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実</p> <p>病診連携機能を強化するとともに、患者の動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備及び充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 小児科及び産婦人科の維持、また、患者の平均年齢が高齢化していることから、非常勤医師対応の診療科(泌尿器科、耳鼻咽喉科、眼科等)の充実を図る。 生理検査(聴力検査・超音波検査)等検査業務を拡充する。 上肢機能を再建する手外科のリハビリテーション、異常な筋収縮に伴う症状を軽減するボトックス治療後のリハビリテーション、がん患者の緩和リハビリテーションの充実を図る。 <p>2 多様な専門職の積極的な活用</p> <p>高度な専門性を有する職員を外部から登用するにあたり、その専門性に適した処遇を行う。さらに、高度な専門性を有する職員が定年を迎えた場合の再雇用制度により引き続き雇用に努める。</p>	<p>1 患者動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 病診連携の強化として、開業医・診療所からの初診・検査予約に対応するため、予約受付を当院の地域連携室で行い、紹介患者のスムーズな診療対応を行った。 救急外来での外国人患者のため、通訳用タブレットを引き続き利用し、円滑な診療体制を維持した。 疾病、病状に応じたきめ細やかな治療として、引き続き午後 5 時以降の夜間透析や小児リハビリ、手外科リハビリに取り組んだ。 <p>(患者数)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>27 年度</th> <th>28 年度</th> <th>29 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>夜間透析</td> <td>2 名</td> <td>2 名</td> <td>2 名</td> </tr> <tr> <td>小児リハビリ</td> <td>33 名</td> <td>42 名</td> <td>48 名</td> </tr> <tr> <td>手外科リハビリ</td> <td>25 名</td> <td>10 名</td> <td>54 名</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 多様な専門職の積極的な活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・薬剤部長に当院の元薬剤部長として実績のある人材を再任用職員(フルタイム)として招へいした。 ・平成 28 年度末に定年を迎えた技師長 1 名について、その専門性を考慮し、定年延長(再延長)を行った。 ・夜間救急受付業務については、一部非常勤業務補助職員を採用し対応していたが、平成 29 年度に新たに 3 名の消防職員 O B を採用し、計 5 名体制とした。これにより、常勤職員の夜間当直業務を廃止し、職員の負担軽減を図った。 ・平成 28 年度末で定年退職を迎えた薬剤師 1 名について、引き続き再雇用職員(フルタイム)として雇用了。また、定年退職した看護師 3 名、診療放射線技師 2 名について、引き続き非常勤職員として雇用了。 	項目	27 年度	28 年度	29 年度	夜間透析	2 名	2 名	2 名	小児リハビリ	33 名	42 名	48 名	手外科リハビリ	25 名	10 名	54 名	III
区分\年度	H27	H28	H29																																																																	
整形外科	1,019	1,217	1,213																																																																	
神経内科	871	880	818																																																																	
消化器内科	1,738	1,675	1,715																																																																	
その他	9,604	10,028	10,732																																																																	
合計	13,232	13,800	14,478																																																																	
区分\年度	H27	H28	H29																																																																	
訪問活動(件)	44	17	100																																																																	
健康づくり講座(回)	12	15	20																																																																	
区分\年度	H29																																																																			
院外参加者数	35																																																																			
院内参加者数	40																																																																			
合計	75																																																																			
項目	27 年度	28 年度	29 年度																																																																	
夜間透析	2 名	2 名	2 名																																																																	
小児リハビリ	33 名	42 名	48 名																																																																	
手外科リハビリ	25 名	10 名	54 名																																																																	
過去の実績報告書に記載された改善方策(改善が完了したものを除く。)	自己評価理由		過去の実績報告書に記載された改善方策(改善が完了したものを除く。)	自己評価理由		過去の実績報告書に記載された改善方策(改善が完了したものを除く。)	自己評価理由																																																													
	消化器病センターや中央放射線部を再編するとともに、認知症ケアセンターを新設し(認知症ケア加算 1 を取得)、医療需要に			開業医への訪問活動、健康づくり講座、医療連携交流会(新規事業)等の精力的な取組による成果が連携予約件数増に表れてい			手外科リハビリについては、作業療法士を 1 名増員し、急性期や外来での患者数を増やすことができた。夜間救急業務については、新たに 3 名の																																																													

岐阜県総合医療センター			岐阜県立多治見病院			岐阜県立下呂温泉病院		
H29 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H29 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		H29 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価	
	<ul style="list-style-type: none"> 特に進捗した取組 その他の主な取組 今後の課題・問題点 (●) 	自己評価		<ul style="list-style-type: none"> 特に進捗した取組 その他の主な取組 今後の課題・問題点 (●) 	自己評価		<ul style="list-style-type: none"> 特に進捗した取組 その他の主な取組 今後の課題・問題点 (●) 	自己評価
昨年度の評価結果に対する取組状況	<p>応じた組織編制を積極的に行っており、項目全体で特に進捗していると評価。</p>		昨年度の評価結果に対する取組状況	<p>ること、新たに介護福祉士等を採用し、病棟の看護業務軽減を図っていることから項目全体で特に進捗していると評価</p>		昨年度の評価結果に対する取組状況	<p>消防職員OBを採用、計 5 名体制とし、常勤職員の夜間当直業務を廃止、職員の負担軽減を図ったこと、及び薬剤部長に当院の元薬剤部長として実績のある人材を再任用職員（フルタイム）として招へいするなど、多様な専門職の積極的な活用をしたことについては評価できるが、項目全体としては平年並みの実績と評価。</p>	